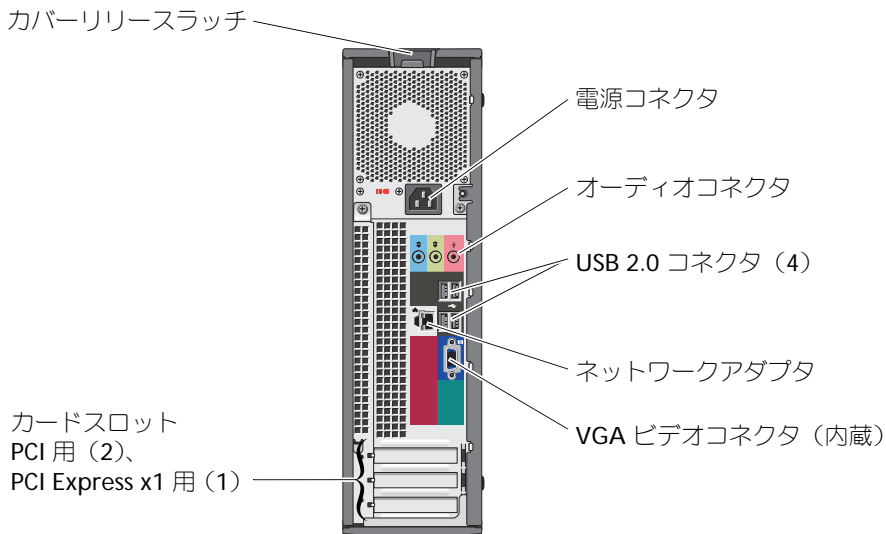
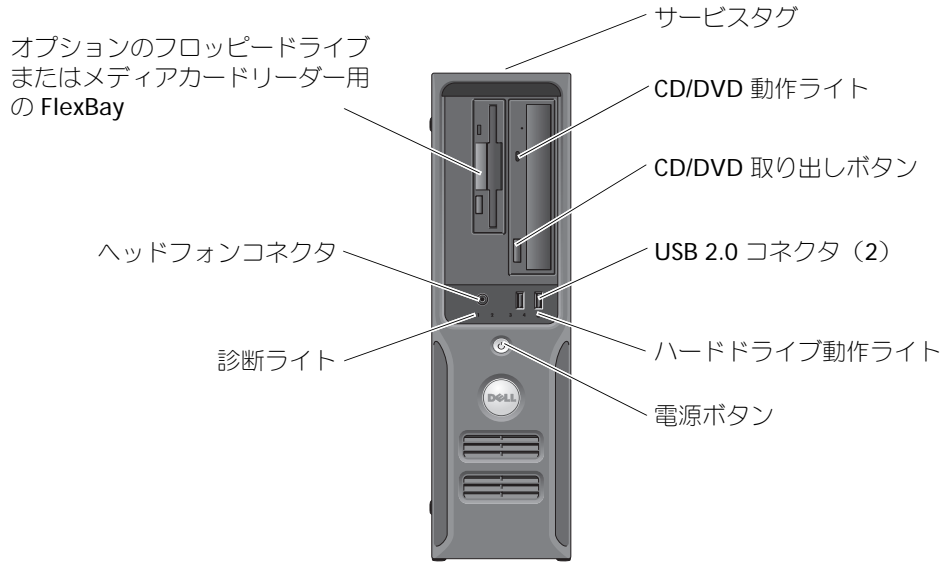


Dell™ Dimension™ 3100C

オーナーズマニュアル



モデル DCNE

メモ、注意、警告



メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、この文書の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。

© 2006 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、DellNet、および PowerConnect は Dell Inc. の商標です。Intel および Pentium は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル DCNE

2006 年 6 月

P/N KD167

Rev. A01

目次

情報の検索方法

1 コンピュータをセットアップしよう	
プリンタケーブル	12
USB プリンタを接続しよう	12
インターネットに接続しよう	13
インターネット接続のセットアップ	13
CD および DVD の再生方法	15
ボリュームを調整するには	16
画像を調整するには	17
CD および DVD をコピーするには	17
CD または DVD のコピーの仕方	17
空の CD および DVD の使い方	18
便利なヒント	19
メディアカードリーダー（オプション）の使い方	19
家庭用および企業用ネットワークをセットアップしよう	20
ネットワークアダプタへの接続	20
ネットワークセットアップウィザード	21
電力の管理	21
スタンバイモード	22
休止状態モード	22
電源オプションのプロパティ	22
ハイパースレディング	24
2 問題を解決するには	
トラブルシューティングのヒント	27
バッテリーの問題	27
ドライブの問題	27
CD および DVD ドライブの問題	28
ハードドライブの問題	28
E-メール、モデム、およびインターネットの問題	29
エラーメッセージ	30

メディアカードリーダーの問題	31
キーボードの問題	31
フリーズおよびソフトウェアの問題	32
コンピュータが起動しない	32
コンピュータが応答しない	32
プログラムが応答しない	32
プログラムが繰り返しくラッシュする	32
プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに 設計されている	33
画面が青色（ブルースクリーン）になった	33
その他のソフトウェアの問題	33
メモリの問題	34
マウスの問題	34
ネットワークの問題	35
電源の問題	36
プリンタの問題	36
スキャナーの問題	37
サウンドおよびスピーカーの問題	38
スピーカーから音が出ない場合	38
ヘッドフォンから音が出ない場合	39
ビデオおよびモニターの問題	39
画面に何も表示されない場合	39
画面が見つからない場合	40

3 アドバンストラブルシューティング

診断ライト	42
Dell Diagnostics（診断）プログラム	45
Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー	45
ドライバ	46
ドライバとは？	46
ドライバの識別	46
ドライバを再インストールするには	47
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには	48
お使いのオペレーティングシステムの復元	48
Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方	48
Symantec による Dell™ PC リストアの使い方	49
Dell PC リストアの削除	50

4 部品の取り外しと取り付け


作業を開始する前に	53
奨励するツール	54
コンピュータの電源を切るには	54
コンピュータ内部の作業を始める前に	54
コンピュータの正面図	55
コンピュータの背面図	57
コンピュータカバーを取り外すには	59
コンピュータの内面図	60
システム基盤のコンポーネント	62
メモリ	63
DDR2 メモリの概要	63
メモリを取り付けよう	64
メモリを取り外すには	66
カード	67
ドライブ	72
IDE ドライブのアドレス指定について	72
ドライブケーブルの接続方法	73
ドライブインタフェースコネクタ	73
電源ケーブルコネクタ	74
ドライブケーブルの接続と取り外しの方法	74
ハードドライブ	75
フロッピードライブ	79
メディアカードリーダー	81
メディアカードリーダーを取り外すには	81
メディアカードリーダーを取り付けよう	83
DVD ドライブ	83
DVD ドライブを取り外すには	84
バッテリー	85
バッテリーを交換するには	85
コンピュータカバーを取り付けるには	87


5 付録

仕様	89
セットアップユーティリティ	92
概要	92
セットアップユーティリティを起動するには	93
セットアップオプション	94
起動順序	97
忘れたパスワードと CMOS 設定をクリアするには	99
ジャンパの位置	99
パスワード設定のクリア	100
CMOS 設定をリセットするには	100
コンピュータをクリーニングするには	100
コンピュータ、キーボード、および モニター	100
マウス	101
フロッピードライブ	101
CD と DVD	101
デルへのお問い合わせ	102

索引	113
----	-----

情報の検索方法

 **メモ:** 一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

 **メモ:** 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか？

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザライセンス契約

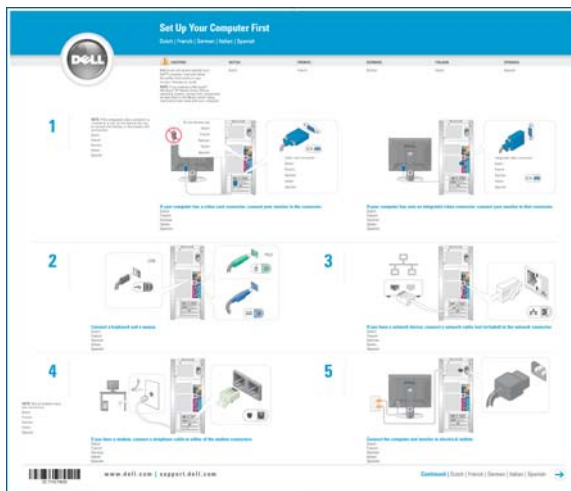
こちらをご覧ください

Dell™ 製品情報ガイド



- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ



何をお探しですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

こちらをご覧ください

サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス
これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付されています。

- サービスタグは、**support.jp.dell.com**

をご参照の際に、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。



- エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。



- 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A
- サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報
- サービスおよびサポート — サービス契約
- 参照資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー
- ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート

デルサポートサイト — support.jp.dell.com



メモ：企業、自治体、および教育機関のお客様向けにカスタマイズされた、デルプレミアサポートウェブサイト premier.dell.co.jp/premier/ もご利用いただけます。

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- デスクトップシステムソフトウェア (DSS) — オペレーティングシステムをコンピュータに再インストールする場合は、DSSユーティリティも再インストールする必要があります。DSSオペレーティングシステムの重要な更新、および Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium® M プロセッサ、オプティカルドライブ、USB デバイスのサポートを提供します。DSS は、Dell コンピュータを正しく動作させるために必要です。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。

ノートブックシステムソフトウェアは、support.jp.dell.com にてダウンロードできます。

- Windows XP の基本情報
- プログラムとファイルの操作方法
- デスクトップのカスタマイズ方法

Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 3 問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータをセットアップしよう



ホームネットワークを
セットアップしたら、
妹に E-メールで写真を
送ることができるわ。

本項の内容：

- プリンタをセットアップしよう
- インターネットに接続しよう
- CD および DVD の再生方法
- CD および DVD をコピーするには
- メディアカードリーダー（オプション）の使い方
- 家庭用および企業用ネットワークをセットアップしよう
- 電力の管理
- ハイパースレッディング

プリンタをセットアップしよう

注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

次の手順を含むセットアップについての情報は、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手方法と、インストールの仕方
- プリンタとコンピュータの接続方法
- 給紙の仕方と、トナーまたはインクカートリッジの取り付け方
- プリンタの製造元へ連絡してテクニカルサポートを受ける方法

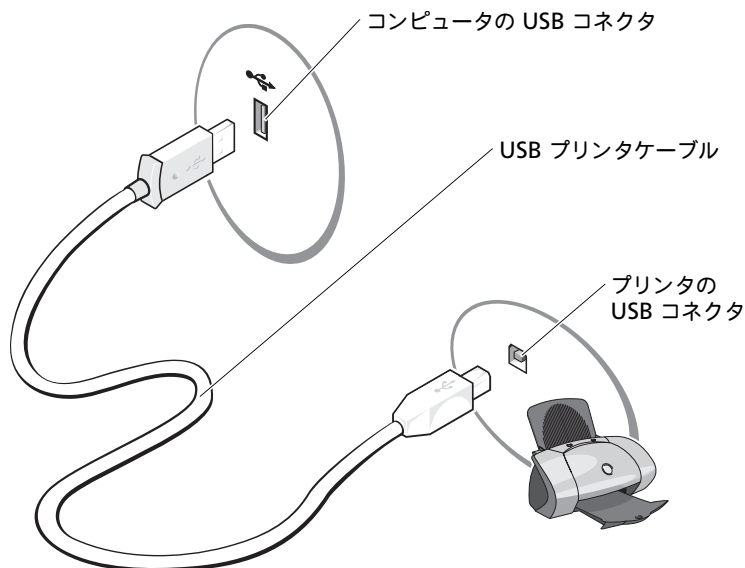
プリンタケーブル

お使いのプリンタは、**USB** ケーブルを使用してコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合は、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

USB プリンタを接続しよう

メモ：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 コンピュータとプリンタの **USB** コネクタに **USB** プリンタケーブルを差し込みます。**USB** コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



インターネットに接続しよう



メモ: ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP (インターネットサービスプロバイダ) が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップにある **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。
新しい接続ウィザードが表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
 - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。



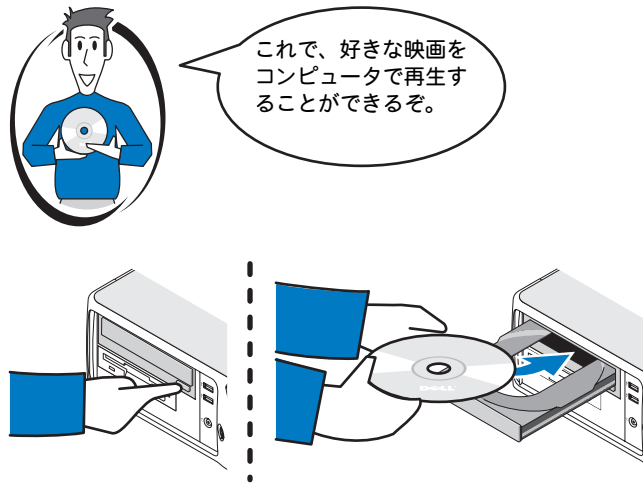
メモ: どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか?** で該当するオプションをクリックしてから、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、**29** ページの「E- メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、**ISP** のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について **ISP** に確認するか、後でもう一度接続してみてください。







CD および DVD の再生方法



- ➡ **注意:** CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。
- ➡ **注意:** CD または DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。
 - 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
 - 2 トレイの中心に、ラベルの付いている面を上にしてディスクを置きます。
 - 3 ディスクをトレイの中央の所定の位置にカチッと収まるまで押し込みます。














- 4 取り出しボタンを押すか、トレイを優しく押し込みます。
データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

メモ: CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。
CD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

-  再生
-  現在のトラック内での巻き戻し
-  一時停止
-  現在のトラック内での早送り
-  停止
-  直前のトラックに戻る


	取り出し
	直後のトラックに進む

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

	停止
	現在の章の再スタート
	再生
	早送り
	一時停止
	巻き戻し
	一時停止モードでのコマ送り
	直後のタイトルまたは章へ進む
	現在のタイトルまたは章のくり返し
	直前のタイトルまたは章へ戻る
	取り出し

CD または DVD の再生については、CD または DVD プレーヤーの **ヘルプ** (利用可能な場合) をクリックしてください。

ボリュームを調整するには

-  **メモ:** スピーカーが無音 (ミュート) に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **エンターテインメント** とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
- 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。


ボリュームコントロールオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

画像を調整するには

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定を調節します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** にあるつまみをクリックしてドラッグし、**800 × 600 ピクセル** に設定します。
- 5 **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

CD および DVD をコピーするには

 **メモ:** CD または DVD を作成する際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD±RW、または CD-RW/DVD (コンボ) ドライブを備えたコンピュータだけに適用されます。


 **メモ:** デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。コンピュータに保存されたオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、目的が異なる場合は、**Sonic DigitalMedia** を使用することもできます。ヘルプに関しては、**Sonic DigitalMedia** を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックしてください。

CD または DVD のコピーの仕方

 **メモ:** CD-RW/DVD コンボドライブでは、DVD メディアに書き込むことはできません。CD-RW/DVD コンボドライブでコピー中に問題が生じた場合は、**Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp** で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD±R、DVD±RW、および DVD+R DL (デュアルレイヤ) メディアに対しては書き込みと読み取りを行います。DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対しては書き込みを行わず、読み取りも行わない可能性があります。

 **メモ:** 市販の DVD のほとんどは著作権が保護されているので、**Sonic DigitalMedia** を使用してコピーすることはできません。

- 1 スタート ボタンをクリックして、**すべてのプログラム → Sonic → DigitalMedia プロジェクト** とポイントして、**コピー** をクリックします。
- 2 **Copy (コピー)** タブで、**バックアップ** をクリックします。

3 CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。

- CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。
プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD をドライブに挿入して、**OK** をクリックします。
- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

CD-RW ドライブは CD 記録メディア（高速 CD-RW を含む）にしか書き込みを行うことができませんが、DVD 書き込み可能ドライブは CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みを行うことができます。音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	再書き込み
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	再書き込み
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

便利なヒント

- **Sonic DigitalMedia** を開始し、**DigitalMedia** プロジェクトを開いた後であれば、**Microsoft® Windows®** エクスプローラでファイルを **CD-R** または **CD-RW** にドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 **CD** を一般的なステレオで再生させるには、**CD-R** を使用してください。**CD-RW** はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- **Sonic DigitalMedia** を使用して、オーディオ **DVD** を作成することはできません。
- 音楽用 **MP3** ファイルは、**MP3** プレーヤーでのみ、または **MP3** ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- ホームシアターシステムで使用される市販の **DVD** プレーヤーは、使用可能な **DVD** フォーマットをすべてサポートしているとは限りません。お使いの **DVD** プレーヤーがサポートしているフォーマットに関しては、**DVD** プレーヤーに付属のマニュアルを参照するか、製造元にお問い合わせください。
- 空の **CD-R** または **CD-RW** を最大容量までコピーしないでください。たとえば、**650 MB** のファイルを **650 MB** の空の **CD** にコピーしないでください。**CD-RW** ドライブは、記録の最終段階でブランクスペースの **1 ~ 2 MB** を必要とします。
- **CD** への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の **CD-RW** を使用してください。**CD-RW** なら、失敗しても **CD-RW** のデータを消去してやりなおすことができます。また、空の **CD-R** に音楽ファイルプロジェクトを永久記録する前にプロジェクトをテストする場合にも、空の **CD-RW** を使用してください。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト **sonicjapan.co.jp** を参照してください。

メディアカードリーダー (オプション) の使い方

メディアカードリーダーを使用して、データを直接コンピュータに転送します。

メディアカードリーダーは、以下のメモリタイプをサポートしています。

- xD ピクチャカード
- スマートメディア (SMC)
- コンパクトフラッシュタイプ I および II (CF I/II)
- マイクロドライブカード
- SD カード
- マルチメディアカード (MMC)
- メモリスティック (MS/MS Pro)

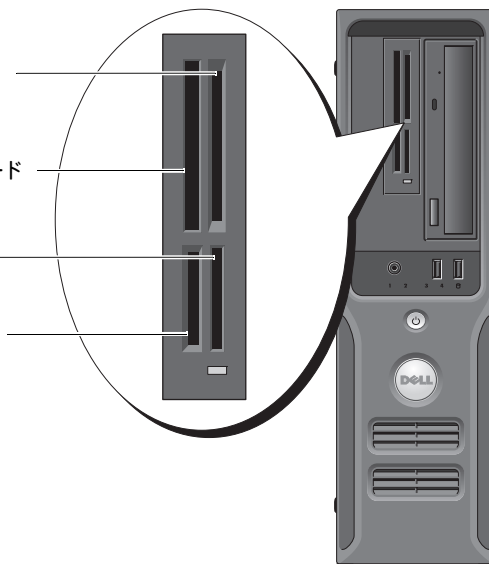
メディアカードリーダーの取り付け方法の詳細に関しては、**83** ページの「メディアカードリーダーを取り付けよう」を参照してください。

xD ピクチャカードおよび
スマートメディア (SMC)

コンパクトフラッシュ
タイプ I および II (CF I/II)
およびマイクロドライブカード

メモリスティック
(MS/MS Pro)

SD カード / マルチメディア
カード (MMC)



メディアカードリーダーを使用するには、次の手順を実行します。

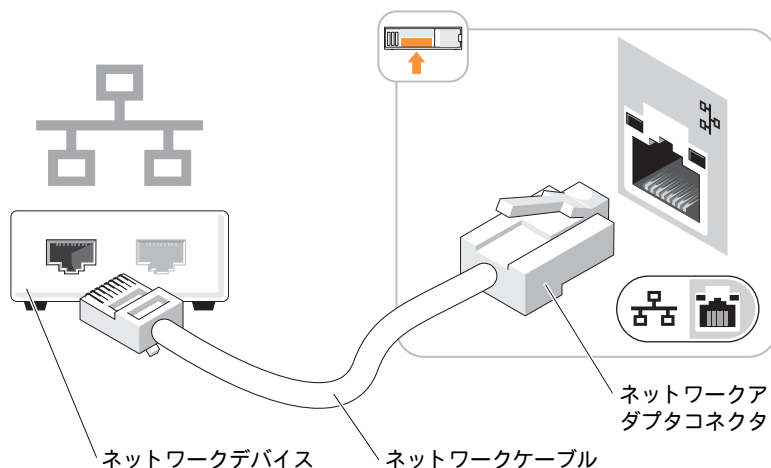
- 1 メディアまたはカードをチェックして、適切な挿入の方向を判断します。
- 2 メディアまたはカードを該当するスロットに差し込み、コネクタに完全に装着します。
メディアまたはカードがきちんと入らない場合、無理に押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

家庭用および企業用ネットワークをセットアップしよう

ネットワークアダプタへの接続

- ➡ **注意：** ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタに差し込みます。ネットワークケーブルをコンピュータのモデムコネクタに差し込まないでください。
 - ➡ **注意：** ネットワークケーブルを壁の電話ジャックに差し込まないでください。
- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。
ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。
 - 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。


コンピュータのネットワークアダプタコネクタ



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → 通信** の順にポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの**開始** の画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 ネットワーク作成の**チェックリスト** をクリックします。

 **メモ:** インターネットに**直接接続している** という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

電力の管理

Microsoft® Windows® XP の電源管理機能を使うと、電源の入っているコンピュータで操作していないときにコンピュータが消費する電力を節約することができます。モニターやハードドライブへの電力だけを節約することができたり、スタンバイモードや休止状態モードを使ってコンピュータ全体の電力を節約することもできます。コンピュータが省電力モードから通常の動作状態に戻ると、Windows デスクトップは省電力モードに入る前と同じ状態に戻ります。

 **メモ:** Windows XP Professional には、Windows XP Home Edition では利用できないセキュリティおよびネットワーク機能が含まれています。Windows XP Professional が動作しているコンピュータがネットワークに接続されている場合、セキュリティおよびネットワークに関する特定のウィンドウでは、表示される項目が異なります。

スタンバイモード


スタンバイモードは、タイムアウトになるとディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約します。スタンバイモードから終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないと自動的にスタンバイモードが起動するよう設定するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。

一定時間コンピュータを操作しない時間をおかずに、スタンバイモードをすぐに起動させるには、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。

スタンバイモードを終了するには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

 **注意：** スタンバイモードのときにコンピュータの電源が切れると、データを損失する恐れがあります。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。コンピュータが休止状態モードから通常の動作状態に戻ると、デスクトップは休止状態モードに入る前と同じ状態に戻ります。

休止状態モードを起動するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで休止状態の設定を行います。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしても、コンピュータは休止状態モードから復帰しません。これは、コンピュータが休止状態モードのときは、キーボードやマウスが動作しないためです。

休止状態モードでは、ハードドライブにコンピュータのメモリの内容を格納するための十分な空きディスク容量を確保する必要があります。お使いのコンピュータには、出荷前に適切な大きさの休止状態モードファイルが作成されています。コンピュータのハードドライブが破損した場合、**Windows XP** では休止状態ファイルを自動的に再作成します。

電源オプションのプロパティ

スタンバイモード設定、休止状態モード設定、およびその他の電源設定は、**電源オプションのプロパティ** ウィンドウで行います。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで電源設定を行います。

電源設定タブ

各標準の電源設定のことを、スキームと呼びます。お使いのコンピュータにプリインストールされている標準の **Windows** スキームを選択するには、**電源設定** ドロップダウンメニューから設定を選びます。各電源設定の下のフィールドに設定が表示されます。設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにする、モニターの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。

電源設定 ドロップダウンメニューには以下のような電源設定が表示されます。

- **常にオン** (デフォルト) — 電力を節約しないでコンピュータをお使いになる場合は、この設定を選びます。
- **自宅または会社のデスク** — ご家庭または会社でお使いのコンピュータで最小限の省電力が必要な場合は、この設定を選びます。
- **プレゼンテーション** — 中断されることなく (省電力なしで) コンピュータをお使いになりたい場合、この設定を選びます。
- **最小の電源管理** — 最小限の省電力でコンピュータをお使いになりたい場合、この設定を選びます。
- **バッテリーの最大利用** — ノートブックコンピュータを長時間バッテリーでお使いになる場合は、この設定を選びます。


デフォルトの電源設定を変更する場合、**モニターの電源を切る**、**ハードディスクの電源を切る**、**システムスタンバイ**、または **システム休止状態** のフィールドにあるドロップダウンメニューをクリックし、表示された一覧からタイムアウトを選びます。設定フィールドのタイムアウトを変更すると、**名前を付けて保存** をクリックし、変更した設定に新しい名前を入力しない限り、そのスキームのデフォルト設定が変更されます。



注意: ハードドライブ (ハードディスク) がモニターより先にタイムアウトになるよう設定すると、コンピュータがロックされたように見えることがあります。通常の状態に戻すには、キーボードの任意のキーを押すか、マウスをクリックします。この問題を回避するには、モニターを常にハードドライブより前にタイムアウトになるよう設定します。

詳細設定タブ

詳細設定 タブでは次のことができます。

- **Windows** タスクバーに電源オプションアイコン  を表示させ、素早く電源オプションアイコンにアクセスできるようにします。
- コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードを終了する前に、**Windows** のパスワードの入力を求めるようコンピュータを設定します。
- スタンバイモードまたは休止状態モードの起動、あるいはコンピュータの電源を切るよう、電源ボタンを設定します。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションを選択して、**OK** をクリックします。

休止状態タブ

休止状態 タブで、休止状態モードを有効にします。**電源設定** タブで設定した休止状態設定を使用する場合、**休止状態** タブで **休止状態を有効にする** チェックボックスをクリックします。

電源管理のオプションの詳細に関しては次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ヘルプとサポート** ウィンドウで、**パフォーマンスと保守** をクリックします。

- 3 パフォーマンスとメンテナンス ウィンドウで、**コンピュータの電力を節約する** をクリックします。

ハイパースレッディング

 **メモ:** すべてのプロセッサが、ハイパースレッディングテクノロジーをサポートしているわけではありません。

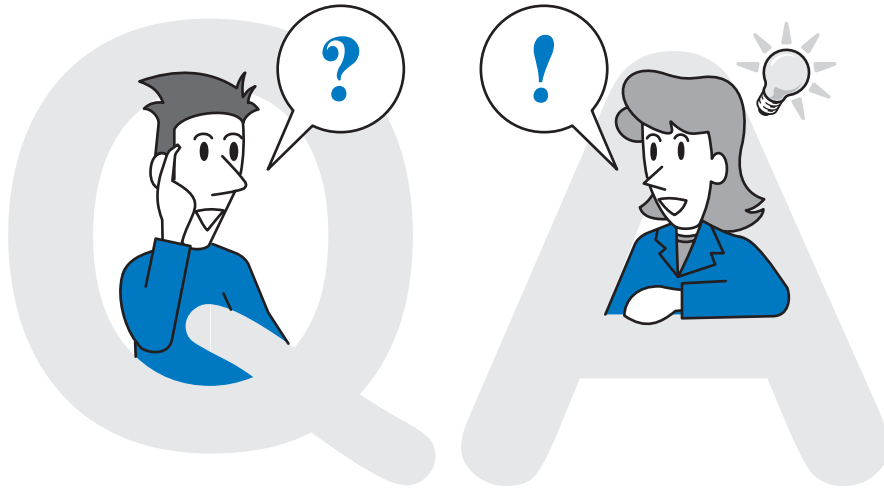
ハイパースレッディングは Intel® テクノロジーであり、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることでコンピュータ全体の性能を向上させるので、特定のタスクを同時に実行することができます。Windows XP は、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることになりませんが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合があります。アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法については、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジーを使用しているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** の横の (+) サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、92 ページを参照してください。ハイパースレッディングの詳細については、デルサポートウェブサイト support.jp.dell.com で、技術情報を検索します。

問題を解決するには



質問：問題の解決策を探すには、まず最初に何をすればいいですか？

答え：作業を始める前に **27** ページの「トラブルシューティングのヒント」をお読みください。

質問：コンピュータの電源を切ると、日付が保存されない場合はどうしたらいいですか？

答え：考えられる解決策について、**27** ページの「バッテリーの問題」を参照してください。

質問：CD の再生ができない DVD ドライブはどうやって直せばいいですか？

答え：**27** ページの「ドライブの問題」をお調べください。

質問：インターネットに接続できません。どうすればいいですか？

答え：**29** ページの「E-メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。

質問：エラーメッセージが表示されました。どうやって調べればいいですか？

答え：一般的な問題については、**30** ページの「エラーメッセージ」を参照してください。

質問：メディアカードのファイルをうまく開けません。どうすればいいですか？

答え：31 ページの「メディアカードリーダーの問題」を参照してください。

質問：コンピュータに入力できない場合はどうすればいいですか？

答え：考えられる解決策について、31 ページの「キーボードの問題」をご覧ください。

質問：E-メールプログラムを開くとコンピュータが停止します。故障しているのでしょうか？

答え：32 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」の手順を実行して、応急処置ができるかお調べください。

質問：カーソルが動かない場合はどうしたらいいですか？

答え：34 ページの「マウスの問題」をお調べください。

質問：ネットワークに接続できません。はじめに何をしたらいいですか？

答え：35 ページの「ネットワークの問題」で対応策を探してください。

質問：コンピュータの電源が入らず、ライトが点滅しています。どうすればいいですか？

答え：36 ページの「電源の問題」の情報をお読みください。

質問：プリンタが作動しません。インクを交換する必要がありますか？

答え：36 ページの「プリンタの問題」を調べて、別に問題があるかどうか確認してください。

質問：コンピュータに写真をコピーしたいのですが、写真がぼやけています。

答え：37 ページの「スキャナーの問題」でヒントを探してください。

質問：音楽を再生しても音が聞こえません。

答え：考えられる問題を 38 ページの「サウンドおよびスピーカーの問題」でお調べください。

質問：画面が真っ暗なので、コンピュータの電源が入っているかどうか分かりません。


答え：考えられる原因について、39 ページの「ビデオおよびモニターの問題」を参照してください。

トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングを実行する際は、以下のヒントに従ってください。

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺機器が動作しない場合は、周辺機器が正しく接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を診断して修復するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

バッテリーの問題

 **警告：**バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。交換するバッテリーは、デルが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

バッテリーを交換します — コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時間と日付の情報をリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時間または日付が表示される場合は、バッテリーを交換します (85 ページを参照)。交換してもバッテリーが正常に作動しない場合、デルにお問い合わせください (102 ページ参照)。

ドライブの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。フロッピー、CD、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ドライブを確認します —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。



ドライブまたはディスクのクリーニングします — 100 ページの「コンピュータをクリーニングするには」を参照してください。

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 48 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を 解決するには」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 45 ページを参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

-  **メモ**：高速な CD ドライブや DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。CD や DVD ドライブの故障ではありません。
-  **メモ**：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

WINDOWS で音量を調節します

- 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 38 ページの「サウンドおよびスピーカーの問題」を参照してください。

DVD-RW ドライブへの書き込み問題

その他のプログラムを閉じます — DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。DVD-RW に書き込む前に、すべてのプログラムを閉じます。

DVD-RW ディスクに書き込む前に、WINDOWS のスタンバイモードをオフにします — Windows ヘルプで スタンバイ というキーワードを検索します。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：モデムは必ずアナログ電話ジャックに接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルを開くことができない場合

- 1 Outlook Express で、**ツール、オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します —

電話ジャックを確認します —

モデムを直接電話ジャックへ接続します —

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接壁の電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別して、その問題を解決します。（**Modem Helper** は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。）

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

- 1 **スタート ボタン** をクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
- 4 **モデム** タブをクリックします。
- 5 モデムの **COM ポート** をクリックします。
- 6 **Windows** がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットへの接続を確認します — インターネットプロバイダとの契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の隣にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。ご質問がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

エラーメッセージ

メッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥ / : * ? " < > | — これらの文字はファイル名には使用しないでください。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

ドライブ文字 :¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — ドライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

起動用メディアを挿入します — 起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

非システムディスクエラーです — ドライブからフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使うプログラムを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルに連絡してください (102 ページを参照)。

メディアカードリーダーの問題

ドライブ文字が割り当てられていません —

Microsoft Windows XP でメディアカードリーダーが検出されると、このデバイスには、システム内の他のすべての物理ドライブの後に、その次の論理ドライブとしてドライブ文字が自動的に割り当てられます。物理ドライブの後の次の論理ドライブがネットワークドライブにマッピングされた場合、Windows XP はメディアカードリーダーに自動的にドライブ文字を割り当てることはありません。

メディアカードリーダーに手動でドライブを割り当てるには次の手順を実行します。

- 1 マイコンピュータを右クリックして **管理** を選択します。
- 2 **ディスクの管理** オプションを選択します。
- 3 右のペインで、変更する必要があるドライブ文字を右クリックします。
- 4 **ドライブ文字とパスの変更** を選択します。
- 5 ドロップダウンリストから、メディアカードリーダーに割り当てる新しいドライブ文字を選択します。
- 6 **OK** をクリックして、選択内容を確定します。

メモ：メディアカードリーダーの各スロットがドライブ文字にマッピングされます。メディアカードがスロットに挿入されていると、メディアカードリーダーのスロットはマッピングされたドライブとして表示されます。ドライブが空のメディアカードリーダーのスロットにマッピングされている場合、そのドライブにアクセスしようとすると、メディアを挿入するようにプロンプトが表示されます。

FLEXBAY デバイスが無効です —

BIOS セットアップには **FlexBay** を無効にするオプションがあります。このオプションは、FlexBay デバイスが取り付けられている場合にのみ表示されます。FlexBay デバイスを物理的に取り付けても起動しない場合は、BIOS セットアップでデバイスが有効になっているか確認してください。

キーボードの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかり接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし (54 ページを参照)、キーボードケーブルをコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおし、コンピュータを再起動します。
- ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している他のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 48 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

フリーズおよびソフトウェアの問題


 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

診断ライトを確認します — 42 ページを参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータが応答しない

 **注意:** オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。


コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しない

プログラムを終了します —

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 アプリケーション をクリックします。
- 3 反応がなくなったプログラムを選択します。
- 4 タスクの終了 をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

 **メモ:** 通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールしてください。

プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。その後、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるソフトウェアのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細に関して、そのソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます (64 ページを参照)。
- メモリモジュールを装着しなおし (64 ページを参照)、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します (45 ページを参照)。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし (64 ページを参照)、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します (64 ページを参照)。
- コンピュータは、DDR2 メモリをサポートしています。コンピュータでサポートされているメモリのタイプの詳細については、63 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します (45 ページを参照)。

マウスの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

マウスをクリーニングします — マウスをクリーニングする手順については、101 ページの「マウス」を参照してください。

マウスケーブルを確認します —

- 1 マウス拡張ケーブルを使用している場合は、拡張ケーブルを取り外してマウスをコンピュータに直接接続します。
- 2 マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように 接続しなおします。

コンピュータを再起動します —

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、スタートメニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押して、**シャットダウン** または **終了オプション** を選択して、<Enter> キーを押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように 接続しなおします。
- 4 コンピュータを再起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している他のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

マウスの設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を変更してみます。

マウสดライバを再インストールします — 47 ページの「ドライバを再インストールするには」を参照してください。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 48 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を 解決するには」を参照してください。

ネットワークの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタとネットワークポートまたはデバイスの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク整合性ライトがオフの場合、ネットワーク通信が存在しないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。ネットワークライトの詳細については、91 ページの「コントロールおよびライト」を参照してください。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 48 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を 解決するには」を参照してください。

電源の問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 42ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。また電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
- 電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (62 ページを参照)。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします (64 ページを参照)。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします (67 ページを参照)。

電源ライトが黄色に点滅している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。
- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (62 ページを参照)。

電氣的な妨害を解消します — 電氣的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウスの延長ケーブル
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタのケーブル接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します（12 ページの「プリンタをセットアップしよう」を参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

Windows がプリンタを認識しているか確認します —

- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- 2 インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する をクリックします。
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 プロパティ をクリックして、ポート タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、印刷先のポートを LPT1：プリンタポート に設定します。USB プリンタの場合、印刷先のポート が USB に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを削除します — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブル接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —


- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、**Windows** はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

スピーカーから音が出ない場合

 **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、**Windows** の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分に確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS のボリューム調整 — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電氣的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

サウンドドライバを再インストールします — 47 ページの「ドライバを再インストールするには」を参照してください。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 48 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します (55 ページを参照)。

Windows で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ビデオおよびモニターの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

画面に何も表示されない場合

モニターのケーブル接続を確認します —

- グラフィックスケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。
- グラフィックス延長ケーブルを外すと問題が解決する場合、ケーブルに欠陥があります。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換し、電源ケーブルに障害があるかどうか確認します。
- 曲がったり壊れたピンがないか、コネクタを確認します。(モニターのケーブルコネクタは、通常ピンが欠けています。)

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押し、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターには電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

診断ライトを確認します — 42 ページを参照してください。

画面が見づらい場合

モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーをモニターから 60 cm 以上離します。

外部電源をモニターから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器は、画面の状態を不安定にすることがあります。コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみてそれらが干渉しているか確認します。

モニターを回転させ、直射日光や干渉を減らします

WINDOWS の画面設定を調整します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** および **画面の色** で別の設定にしてみます。

アドバストラブルシューティング



本項の内容：

- 診断ライト
- Dell Diagnostics (診断) プログラム
- ドライバ
- ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには
- お使いのオペレーティングシステムの復元

診断ライト

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータには、前面パネルに「1」、「2」、「3」、「4」と表示された4つのライトがあります。これらのライトは問題のトラブルシューティングに役立ちます（55ページを参照）。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了したら、4つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色や組み合わせ順によって問題を識別できます。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
①②③④	<p>コンピュータが通常の「オフ」の状態、またはBIOSの起動前に障害が起こっている可能性があります。</p> <p>オペレーティングシステムが正常に起動すると、診断ライトは消えます。</p> <p>メモ：すべての診断ライトが消えている状態で、システムが起動しない場合は、電源ユニットまたはプロセッサに問題がある可能性があります。</p>	<p>コンピュータを使用可能なコンセントに接続します。36ページの「電源の問題」も参照してください。</p>
①②③④	<p>プロセッサの障害が検出されました。</p>	<p>デルにお問い合わせください（102ページを参照）。</p>
①②③④	<p>メモリモジュールが検出されましたが、メモリ障害が発生しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして（64ページ参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、あるいはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます（64ページを参照）。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（102ページを参照）。
①②③④	<p>グラフィックスの障害が発生した可能性があります。</p>	<p>問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（102ページ参照）。</p>
①②③④	<p>フロッピードライブまたはハードドライブの障害が発生した可能性があります。</p>	<p>すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。</p>

ライトパターン (続き)	問題の説明	推奨される処置
① ② ③ ④	USB の障害が発生した可能性があります。	すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。
① ② ③ ④	メモリモジュールが検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> • 取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして (64 ページ参照)、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、あるいはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 • 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます (64 ページを参照)。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。
① ② ③ ④	メモリモジュールは検出されましたが、メモリの設定または互換性エラーが存在します。	<ul style="list-style-type: none"> • 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないか確認します (63 ページを参照)。 • 取り付けようとしているメモリがお使いのコンピュータと互換性があるか確認します (63 ページを参照)。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。
① ② ③ ④	拡張カードの障害が発生した可能性があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1 カードを取り外してからコンピュータを再起動し、コンフリクトが起きているかを調べます (67 ページを参照)。 2 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け直し、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 3 それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合は、リソースコンフリクト時にコンピュータから最後に取り外したカードをトラブルシューティングします (48 ページを参照)。 4 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。

ライトパターン
(続き)

問題の説明

推奨される処置

① ② ③ ④

その他の障害が発生しました。

- ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します (62 ページを参照)。
- デバイス (フロッピードライブやハードドライブなど) に問題があることを示すエラーメッセージが画面に表示されている場合は、デバイスが正しく機能しているか確認してください。
- オペレーティングシステムがデバイス (フロッピードライブやハードドライブ) から起動しようとしています。起動順序がコンピュータにインストールされているデバイスで正しく設定されているか、セットアップユーティリティ (92 ページを参照) を確認してください。
- 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。

① ② ③ ④


通常に動作していると、すべての診断ライトが点灯し、システムが起動する前に消えます。

メモ: すべての診断ライトが点灯した状態で、システムが起動しない場合は、電源ユニットまたはプロセッサに問題がある可能性があります。


システムが起動しない場合は、コンピュータを使用可能なコンセントに接続してください。36 ページの「電源の問題」も参照してください。

電源に問題がないのにシステムが起動しない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。

Dell Diagnostics (診断) プログラム

 **警告：**本項の手順を開始する前に、「製品情報ガイド」の安全手順に従ってください。

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」(25 ページを参照) のチェック事項を実行してから、**Dell Diagnostics (診断) プログラム**を実行してください。

 **注意：**Dell Diagnostics (診断) プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 2 **DELL™** のロゴが表示されたらすぐに **<F12>** を押します。
ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、**Microsoft® Windows®** のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして (54 ページを参照) もう一度やりなおしてみます。
- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して **<Enter>** を押します。
- 4 **Dell Diagnostics (診断) プログラムの Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (45 ページを参照)。

Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

- 1 **Dell Diagnostics (診断) プログラム**がロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。
エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください (102 ページを参照)。



メモ：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします (詳細に関しては、以下の表を参照)。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p>Dell Diagnostics (診断) プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。**Dell Diagnostics (診断)** プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの **Dell** コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは **Microsoft® Windows®** オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

Windows XP

- 1 スタート ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 ([!] の付いた黄色い丸) が付いているものがないか確認します。
デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

ドライバを再インストールするには

-  **注意**：デルサポートサイト support.jp.dell.com から Dell™ コンピュータの認可されたドライバが入手できます。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

- 1 スタート ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼働状態にコンピュータを戻します。

ドライバを手動でインストールするには

- 1 必要なドライバファイルをハードドライブにコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違っ設定されている場合、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使用して非互換性を解決することができます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。
- 3 **検索結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。


お使いのオペレーティングシステムの復元


次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- **Microsoft Windows XP** システムの復元は、お使いのコンピュータをデータファイルに影響させることなく、以前の状態に戻します。
- **Symantec** による **Dell PC** リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。**Dell PC** リストアはハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションも取り除きます。

Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなった場合、**Microsoft Windows XP** オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます (データファイルへの影響はありません)。システムの復元の使い方については、**Windows** ヘルプとサポートセンターを参照してください。

 **注意：** データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。


 **メモ：** この文書の手順は、**Windows** のデフォルトビュー用ですので、お使いの **Dell™** コンピュータを **Windows** クラシック表示に設定した場合は動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック (47 ページを参照) を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

 **注意：** コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから **システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。
復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。
日付の中に復元ポイントが **1** つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。**2** つ以上の復元ポイントが利用可能な場合、希望の復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す



注意：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから **システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

空き容量が **200 MB** より少ないハードディスクに **Windows XP** を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。
- 5 **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

Symantec による Dell™ PC リストアの使い方




メモ：Dell PC リストアは、すべての国で利用できるわけではありません。

Symantec による **Dell PC** リストアは、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。PC リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたようなプログラムやファイル（データファイルを含む）も永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC リストアを使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。


-  **注意**：PC リストアを使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションやドライバも取り除かれます。PC リストアを使用する前にデータをバックアップしてください。

PC リストアは、以下の手順で実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れ、キーボードのステータスライトに注目します。
- 2 ライトが点滅したら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。
<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータが再起動し終わるのを待って、もう一度再起動します。


-  **注意**：PC リストアをこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。

- 3 次の画面で **復元** をクリックします。
- 4 次の画面で **承認** をクリックします。
復元プロセスが完了するまでに、約 **6 ~ 10** 分かかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

-  **メモ**：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させます。



- 6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。
- 7 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Dell PC リストアの削除

-  **注意**：Dell PC リストアをハードドライブから永久に削除すると、PC リストアユーティリティをお使いのコンピュータから削除します。Dell PC リストアを削除した後は、それを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC リストアを使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータからPC リストアを削除しないことをお勧めします。ハードドライブからPC リストアを削除すると、今後、PC リストアを呼び出すことができず、PC リストアを使用してコンピュータのオペレーティングシステムを出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC リストアを削除するには次の手順を実行します。

- 1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
- 2 Windows エクスプローラで、**c:\dellutilities\DSR** に移動します。
- 3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。
 **メモ**：ローカルのシステム管理者としてログオンしていない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。
 **メモ**：お使いのコンピュータのハードドライブにPC リストア用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてください。削除するパーティションがありません。
- 4 **OK** をクリックして、ハードドライブのPC リストア用パーティションを取り除きます。

- 5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。
PC リストア用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。
- 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク (C)** をクリックし、**プロパティ** をクリックして、**空き領域** に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
- 7 **終了** をクリックして、**PC リストアの削除** ウィンドウを閉じます。
- 8 コンピュータを再起動します。

部品の取り外しと取り付け



作業を開始する前に

本章では、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外したり、取り付けたりする手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」(54 ページを参照) および「コンピュータ内部の作業を始める前に」(54 ページを参照) の手順をすでに終えていること。
- お使いの Dell™ 『製品情報ガイド』の安全性に関する情報を読んでいること。




メモ：特に指示がない限り、コンポーネントは取り外し手順と逆の順番で交換または（別途購入している場合は）取り付けができます。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。






- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- フラッシュ BIOS アップデートプログラムのフロッピーディスクまたは CD



コンピュータの電源を切るには

-  **注意：**データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。スタート ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
 - 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。

コンピュータ内部の作業を始める前に

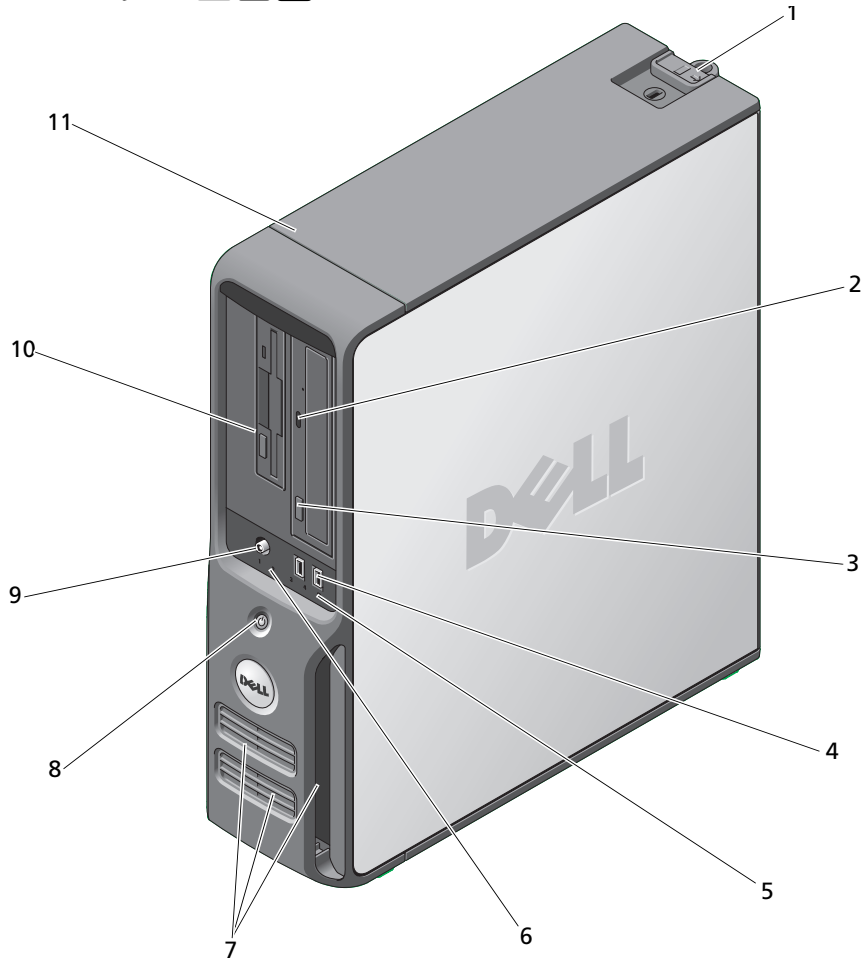
コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

-  **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
-  **警告：**部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。
-  **注意：**コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。
-  **注意：**ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフープの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。
-  **注意：**コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。
- 1 コンピュータの電源を切ります (54 ページを参照)。



 **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次にネットワークポートまたはデバイスからケーブルを外します。
 - 2 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
 - 3 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
-  **警告：**感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 4 コンピュータカバーを取り外します (59 ページ を参照)。

➡ **注意：** コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を除去してください。

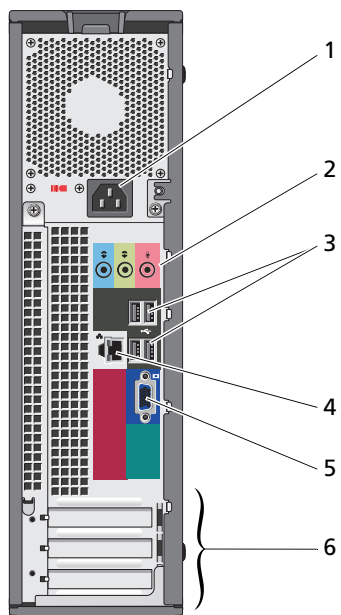
コンピュータの正面図





部品の取り外しと取り付け

1	カバーのリリースラッチ	このラッチを使ってカバーを取り外します。 59 ページの「コンピュータカバーを取り外すには」を参照してください。
2	DVD 動作ライト	ドライブライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
3	DVD 取り出しボタン	このボタンを押して CD または DVD ドライブからディスクを取り出します。
4	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラなどの時々接続するデバイス、または起動可能な USB デバイスには、前面 USB コネクタを使用します (USB デバイスからの起動については、 94 ページの「セットアップオプション」を参照してください)。プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
5	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブ動作ライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きする際に点灯します。このライトは、 CD プレーヤーなどのデバイスが動作中にも点灯します。
6	診断ライト (4)	診断ライトは、診断コードに基づくコンピュータの問題のトラブルシューティングに役立ちます。詳細は、 42 ページの「診断ライト」を参照してください。
7	通気孔	適切に冷却するために、通気孔はいつでも塞がないようにしてください。  注意: 通気孔はいつでも周囲の物体から 2 インチ以上離してください。  注意: システムが適切に通気できるように、通気孔部分はきれいで埃のない状態に保ってください。液体によるシステムの損傷を避けるため、通気孔部分の掃除には乾いた布のみを使用してください。
8	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。  注意: データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
9	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンおよびほとんどの種類のスピーカーを取り付けることができます
10	FlexBay ドライブ	オプションのフロッピードライブまたはオプションのメディアカードリーダーを取り付けることができます。メディアカードリーダーの使い方の詳細に関しては、 19 ページの「メディアカードリーダー (オプション) の使い方」を参照してください。
11	サービスタグ位置	デルサポートウェブサイトまたはテクニカルサポートにお電話をいただいた際に、お使いのコンピュータを識別するために使用します。

コンピュータの背面図



部品の取り外しと取り付け

1	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
2	オーディオコネクタ (3)	<ul style="list-style-type: none"> • ライン入力コネクタ — 青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR (ビデオカセットレコーダー) などの録音 / 再生デバイスを接続します。 • ライン出力コネクタ — 緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 • マイクコネクタ — ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽を入力します。
3	USB 2.0 コネクタ (4)	<p>プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用します。</p> <p>ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、前面 USB コネクタを使用します。</p>
4	ネットワークアダプタコネクタ	<p>コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに取り付けるには、ネットワークケーブルの片方の端をネットワークポートやネットワーク / ブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端を、コンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッと収まったらネットワークケーブルはしっかりと接続されています。</p> <p> メモ: モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください。ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。</p> <p>カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。</p>
5	VGA ビデオコネクタ	モニターの VGA ケーブルをコンピュータの VGA コネクタに差し込みます。
6	カードスロット	<p>取り付けられた PCI カード (2 スロット) と x1 PCI Express カード用のアクセスコネクタです。</p> <p> メモ: コンピュータには 4 つのカードスロット開口部がありますが、サポートされるカードは最大で 3 枚です。一番下のスロットは使用できません。</p>

コンピュータカバーを取り外すには

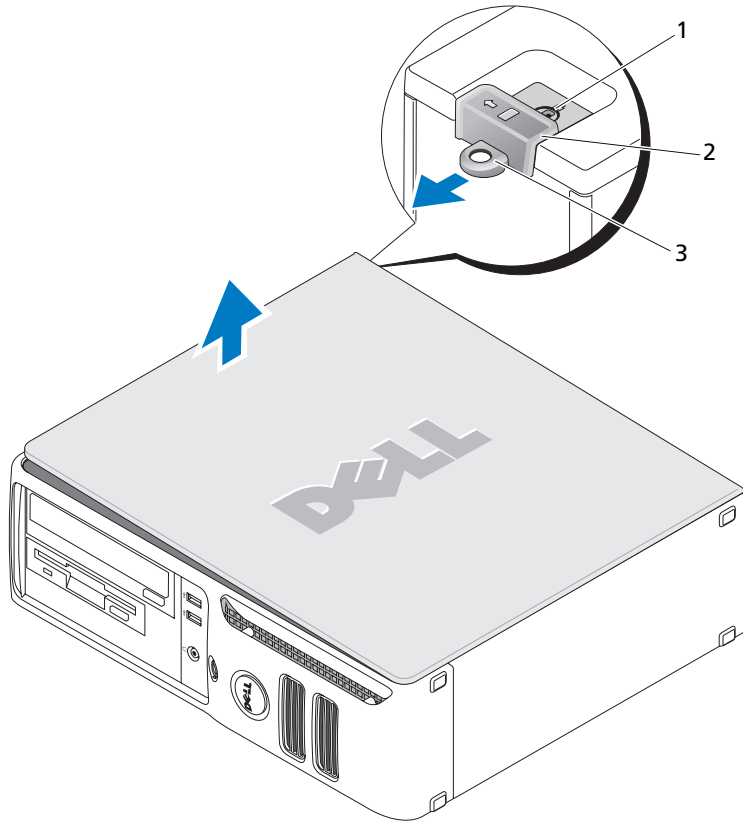


警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。






警告：感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

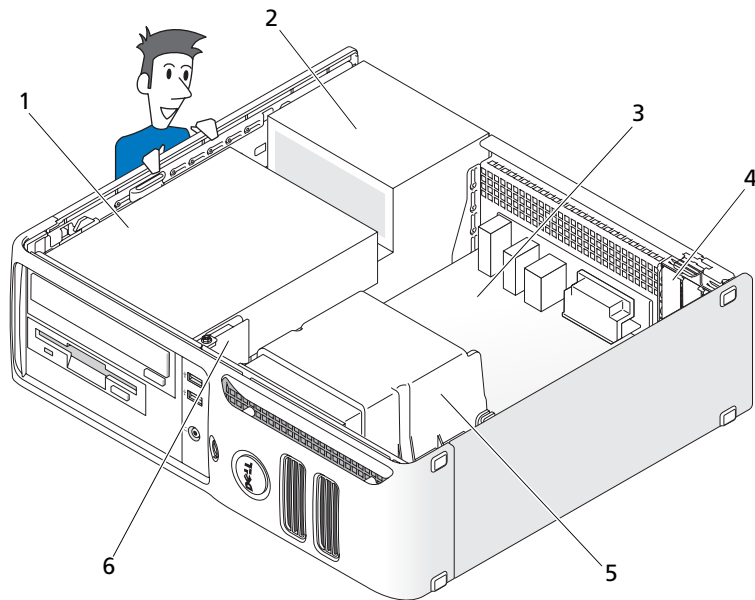
- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - ➡ **注意：**取り外したカバーを置ける十分なスペース（作業台の上に **30 cm** 以上）があることを確認します。
 - ➡ **注意：**コンピュータやコンピュータを置いている台の表面を傷付けないように、必ず保護されている水平な台上で作業します。
- 2 背面パネルのパドロックリングにパドロックを取り付けている場合、パドロックを取り外します。
- 3 コンピュータカバーを上向きにして、コンピュータを横に倒します。
- 4 カバーを持ち上げながらリリースラッチを後方にスライドさせます。
- 5 ヒンジタブをてこの支点としてカバーを上を動かします。
- 6 カバーをヒンジタブから取り外し、柔らかく傷が付きにくい場所に置いておきます。



- 1 セキュリティケーブルスロット
- 2 カバーリリースラッチ
- 3 パドロックリング

コンピュータの内面図

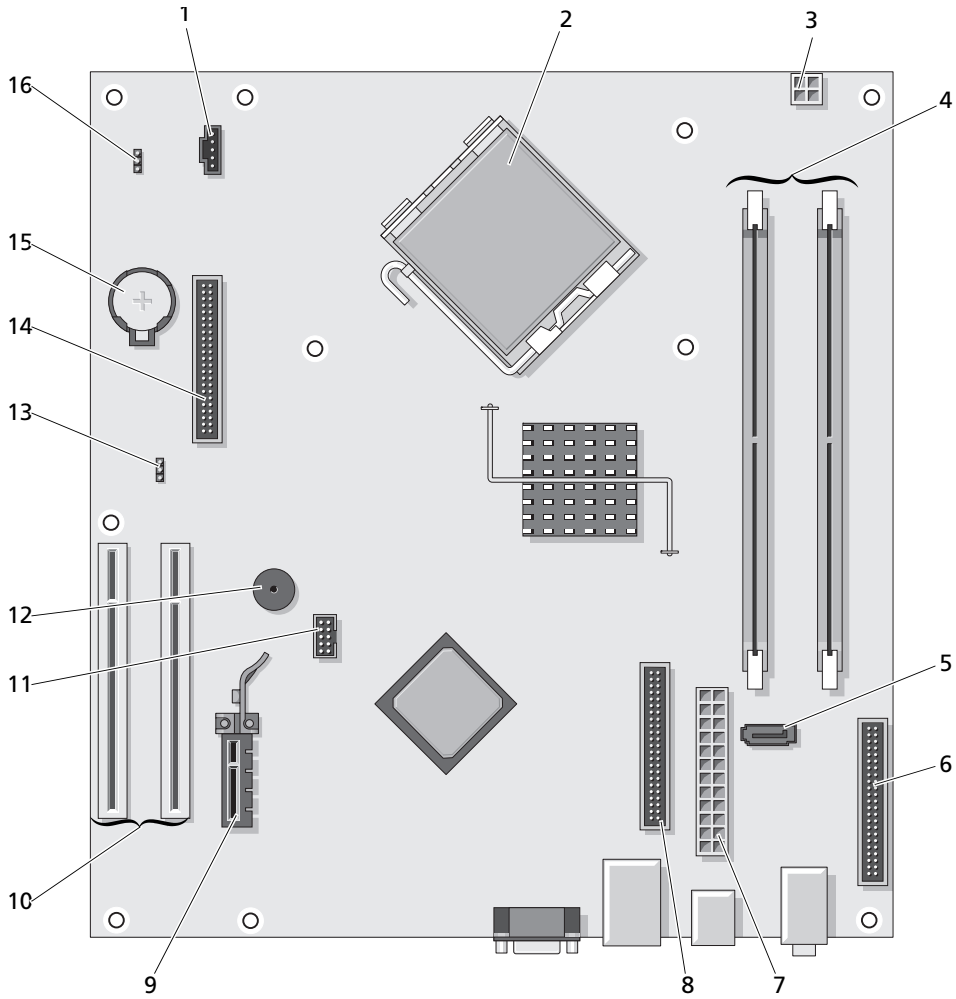
-  警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
-  警告：感電防止のため、コンピュータカバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
-  注意：コンピュータカバーを開く際は、誤ってシステム基板からケーブルが外れないように注意してください。



1	ドライブベイ (CD/DVD、フロッピー、およびハードドライブ)	4	カードスロット
2	電源装置	5	ヒートシンクアセンブリ
3	システム基板	6	前面 I/O パネル

システム基盤のコンポーネント

部品の取り外しと取り付け



1	ファンコネクタ (FAN)	9	PCI Express x1 カードコネクタ
2	プロセッサコネクタ (CPU)	10	PCI カードコネクタ (2)
3	電源コネクタ (12VPOWER)	11	FlexBay USB コネクタ
4	メモリモジュールコネクタ (DIMM_1、DIMM_2)	12	圧カプザー
5	シリアル ATA ドライブコネクタ (SATA0)	13	パスワードジャンパ (PSWD)
6	前面パネルコネクタ (FNT_PANEL)	14	フロッピードライブコネクタ (DSKT)
7	電源コネクタ (POWER)	15	バッテリーソケット (BATT)
8	DVD ドライブコネクタ (IDE)	16	RTC リセットジャンパ (RTCST)

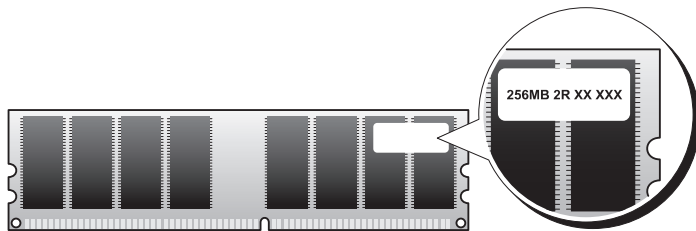
メモリ

お使いのコンピュータにシステム基板に装着されたメモリモジュールが **1** つしかない場合、追加のメモリモジュールを取り付けてコンピュータのメモリを増やすことができます。

コンピュータは、**DDR2** メモリをサポートしています。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、**89** ページの「仕様」を参照してください。

DDR2 メモリの概要

DDR2 メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズ、同じ速度、および同じテクノロジーのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。**DDR2** メモリモジュールをペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作し続けますが、性能が少し落ちます。モジュールのラベルを見て、モジュールの容量を確認してください。



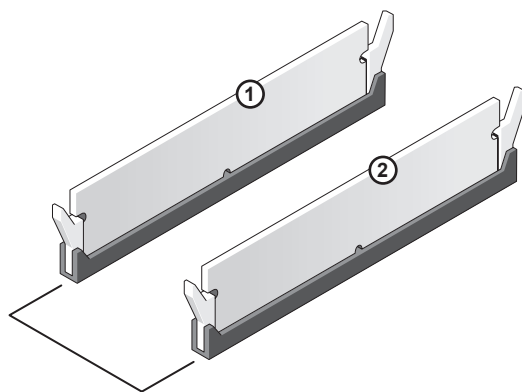
メモ: 必ず、システム基板に示されている順番で **DDR2** メモリモジュールを装着してください。

同じ容量のメモリモジュールをペアにして **DIMM** コネクタ **1** と **2** に装着することをお勧めします。



注意: **ECC** またはバッファ付きのメモリモジュールは装着しないでください。バッファなしの非 **ECC** メモリのみがサポートされています。

- **DDR2 400-MHz (PC2-3200)** と **DDR2 533-MHz (PC2-4300)** のメモリモジュールのペアを装着した場合、モジュールは取り付けられたうちのより遅いスピードで動作します。
- モジュールをコネクタに取り付ける前に、シングルメモリモジュールを **DIMM** コネクタ **1** (プロセッサに近いコネクタ) に取り付けます。



同じ容量を持つメモリモジュール
のペアを DIMM コネクタ 1
および 2 に装着



メモ: デルから購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証に含まれます。



注意: メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになったとしても、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してください。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。ペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。

メモリを取り付けよう



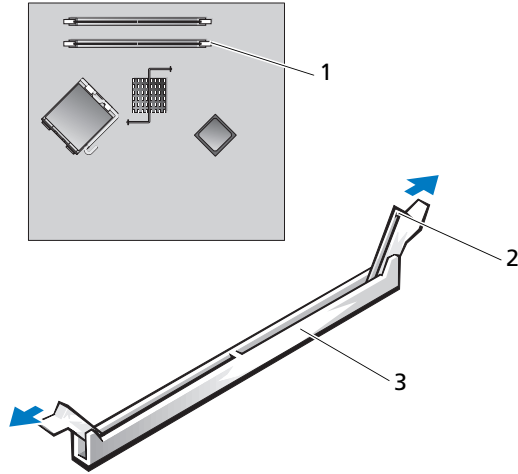
警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意: コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。

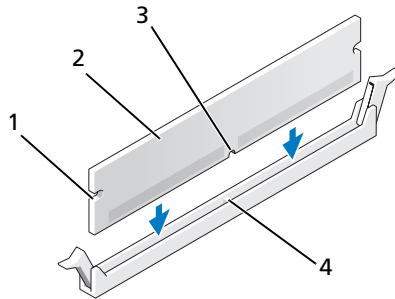
- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。



- | | |
|---|--------------------|
| 1 | プロセッサに近いほうのメモリコネクタ |
| 2 | 固定クリップ (2) |
| 3 | コネクタ |

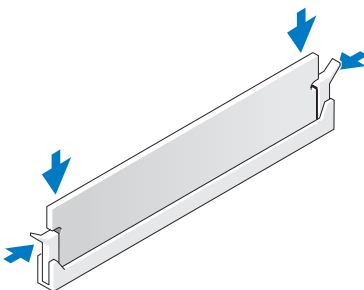
- 3 モジュールの底面の切り込みを、コネクタ内のクロスバーに合わせます。



- | | |
|---|----------|
| 1 | 切り欠き (2) |
| 2 | メモリモジュール |
| 3 | 切り込み |
| 4 | クロスバー |

注意：メモリモジュールへの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力を加えて、モジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。

- メモリモジュールをカチッと所定の位置に収まるまで、しっかりと押し込みます。モジュールが適切に挿入されると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まります。



- コンピュータカバーを取り付けます。87 ページの「コンピュータカバーを取り付けるには」を参照してください。
 - 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。
- メモリサイズが変更されているというメッセージが表示されたら、<F1> を押して続行します。
- コンピュータにログオンします。
- マイコンピュータ アイコンを右クリックして、プロパティ をクリックします。
- 全般 タブをクリックします。
- 表示されているメモリ (RAM) の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

メモリを取り外すには



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。

- 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、押し開きます。
- モジュールをしっかりとつかんで、引き上げます。
モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に軽く動かして緩め、コネクタから取り外します。

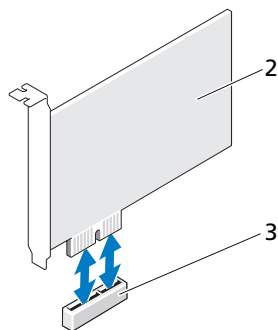
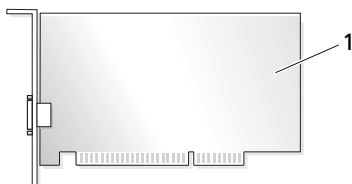
カード

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。

お使いの Dell™ コンピュータは、PCI および PCI Express カードに以下のスロットを提供します。

- ロープロファイル PCI カードスロットを 2 つ
- ロープロファイル PCI Express x1 カードスロットを 1 つ



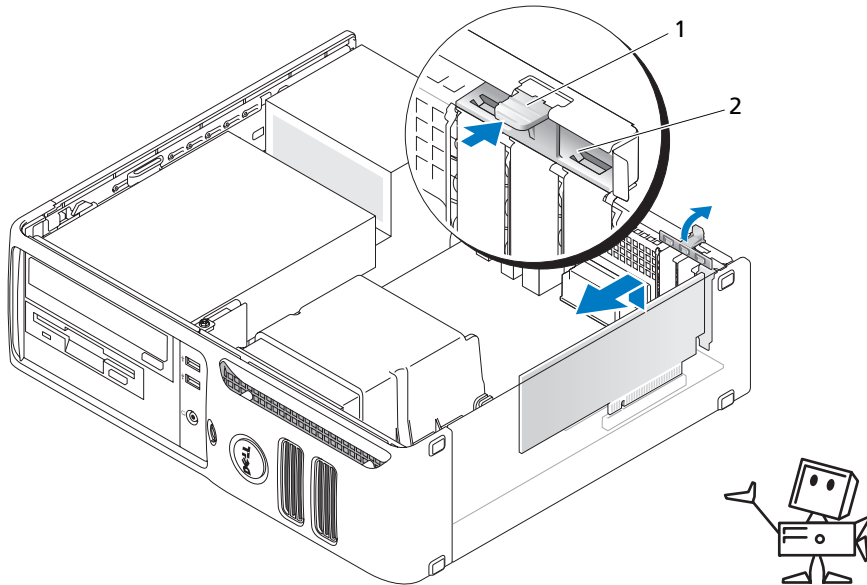
- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | PCI カード |
| 2 | PCI Express x1 カード |
| 3 | PCI Express x1 カード
スロット |

拡張カードを取り付けるか交換する場合、次の手順を実行します。拡張カードを取り外すだけで取り付けなおさない場合、71 ページの「拡張カードを取り外すには」を参照してください。

カードを交換する場合、現在のカード用のドライバをオペレーティングシステムから削除します。

拡張カードを取り付けよう

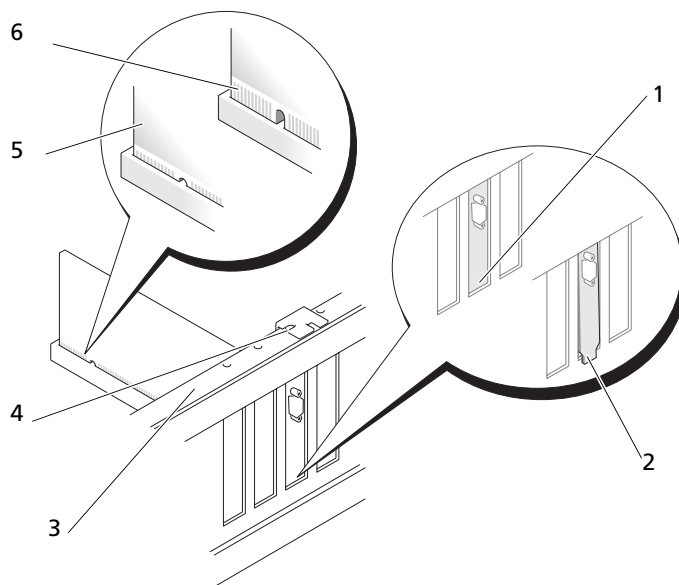
- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。



1 リリースタブ

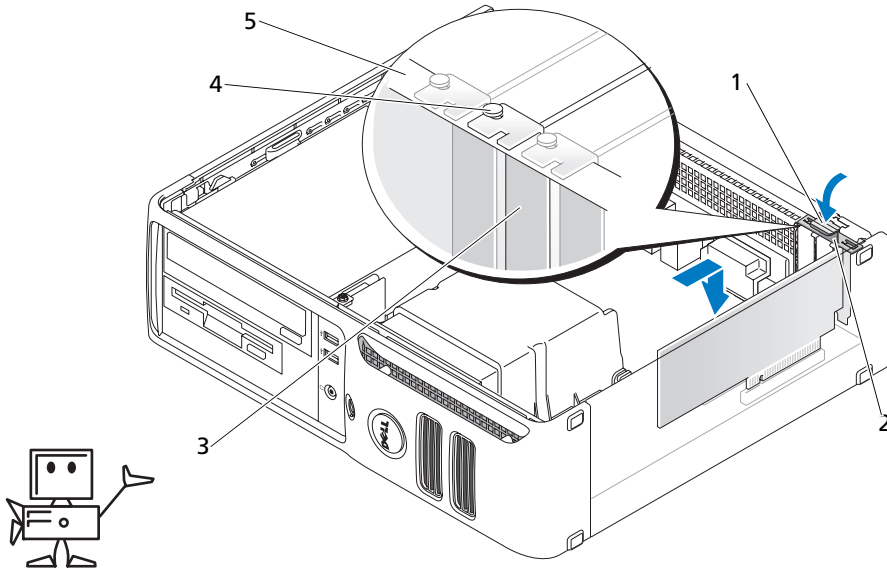
2 カード固定ドア

- 2 カード固定ドアの内側にあるリリースタブを軽く押し、ドアを回転して開きます。ドアは繫留しているため、開いたままの状態になります。
 - 3 新しいカードを取り付ける場合、フィルターブラケットを取り外してカードスロット開口部を作成します。次に手順 5 に進みます。
 - 4 既にコンピュータに取り付けられているカードを交換する場合、カードを取り外します。必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。カードの上端を持って、コネクタから取り外します。
 - 5 カードを取り付ける準備をします。
カードの設定、内部の接続、またはお使いのコンピュータに合わせたカードのカスタマイズの情報については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。
- ⚠ 警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電防止のため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 6 カードをコネクタに置き、しっかりと下に押し込みます。カードがスロットにしっかりと装着されているか確認します。



1	スロット内のブラケット	2	スロットの外側にはみ出したブラケット
3	位置合わせバー	4	位置合わせガイド
5	完全に装着されたカード	6	完全に装着されていないカード

- 7 カード固定ドアを閉める前に、次のことを確認してください。
- すべてのカードの上部とフィラーブラケットの高さが、位置合わせバーと同じ高さに揃っている
 - カードの上部の切り込みまたはフィラーブラケットが、位置合わせガイドと合っている







1 リリースタブ	2 カード固定ドア
3 フィラーブラケット	4 位置合わせガイド
5 位置合わせバー	

- 8 カード固定ドアを所定の位置にカチッと取めて閉じます。
- ➡ **注意:** カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上を通して配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなくなったり、装置に損傷を与える恐れがあります。
- 9 必要なケーブルをカードに接続します。
カードのケーブル接続については、カードに付属のマニュアルを参照してください。
- ➡ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
- 11 サウンドカードを取り付けた場合、次の手順を実行します。
 - a セットアップユーティリティを起動し、**オーディオコントローラ** を選択して、設定を **Off** に変更します (92 ページ を参照)。
 - b 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスを、背面パネルのマイクコネクタ、スピーカー / ヘッドフォンコネクタ、またはライン入力コネクタに接続しないでください。

- 12 アドインネットワークアダプタをインストールしていて、内蔵ネットワークアダプタを無効にする場合
 - a セットアップユーティリティを起動し、**ネットワークコントローラ** を選択して、設定を **Off** に変更します (92 ページ を参照)。
 - b ネットワークケーブルをアドインネットワークアダプタのコネクタに接続します。ネットワークケーブルを背面パネルの内蔵コネクタに接続しないでください。
- 13 カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

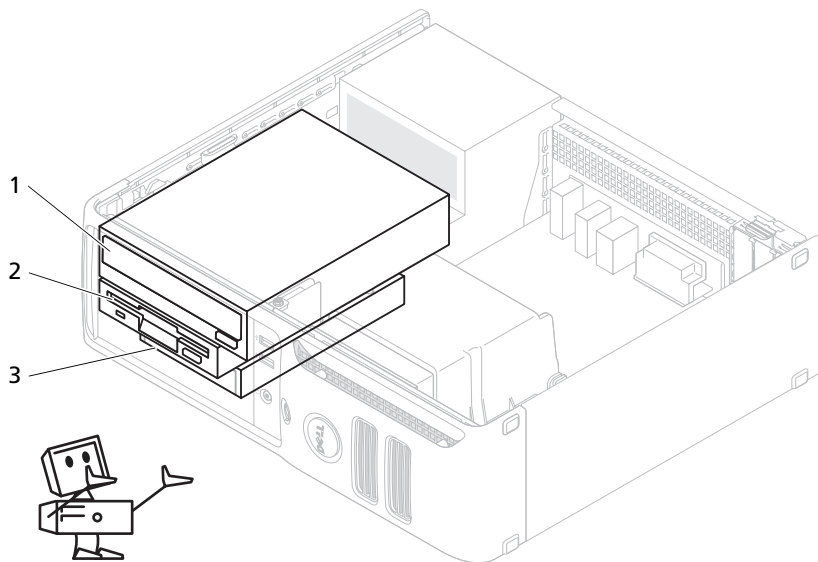
拡張カードを取り外すには

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - 2 カード固定ドアのリリースタブを内側から慎重に押し、ドアを回転して開きます。ドアは繋留しているため、開いたままの状態になります。
 - 3 カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。
 -  **メモ:** コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。
 - 4 カード固定ドアを所定の位置にカチッと閉め、カードを固定します。
 -  **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
 - 5 コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
 - 6 カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。
 - 7 サウンドカードを取り外した場合、次の手順を実行します。
 - a セットアップユーティリティを起動し、**オーディオコントローラ** を選択して、設定を **On** に変更します (92 ページ を参照)。
 - b 外付けオーディオデバイスをコンピュータ背面パネルのオーディオコネクタに接続します。
 - 8 アドインネットワークコネクタを取り外した場合は、セットアップユーティリティを起動し、**ネットワークコントローラ** を選択して、設定を **On** に変更します (92 ページ を参照)。
 - 9 ネットワークケーブルをコンピュータ背面パネルの内蔵コネクタに接続します。
-  **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
-  **警告:** 感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

ドライブ

お使いのコンピュータは、以下のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- シリアル ATA ハードドライブを 1 台
- FlexBay ドライブ（フロッピードライブまたはメディアカードリーダー）を 1 台
- CD ドライブまたは DVD ドライブを 1 台



1	DVD ドライブ
2	フロッピードライブ
3	ハードドライブ

DVD ドライブをシステム基板の「IDE」と表示されたコネクタに接続します。シリアル ATA ハードドライブは、システム基板の「SATA0」または「SATA1」とラベルの付いたコネクタに接続する必要があります。

IDE ドライブのアドレス指定について

1 本の IDE インタフェースケーブルに 2 台の IDE デバイスを接続し、ケーブルセレクト設定を行う場合、インタフェースケーブル上の末端のコネクタに接続されたデバイスが、マスターまたは起動デバイス（ドライブ 0）となり、インタフェースケーブル上の中間のコネクタに接続されたデバイスがスレーブデバイス（ドライブ 1）となります。デバイスの **cable select** 設定の方法については、アップグレードキットに付属しているドライブのマニュアルを参照してください。

ドライブケーブルの接続方法

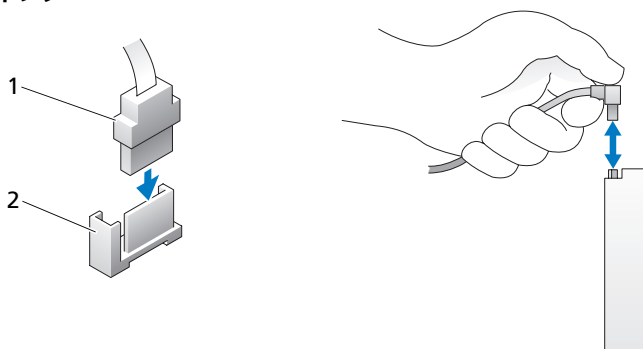
ドライブを取り付ける場合、2本のケーブル（DC電源ケーブルとデータケーブル）をドライブの背面およびシステム基板に接続します。

ドライブインタフェースコネクタ

大半のインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタの切り込みやピンの欠けが、もう一方のコネクタのタブや差し込み穴と一致します。これらのコネクタによって、ケーブルの1番ピンワイヤ（IDEケーブルの片側に色帯が付いています。シリアルATAケーブルには色帯は付いていません）が、コネクタの1番ピンの端に正しく接続されます。基板またはカード上にあるコネクタの1番ピンの端を示すために、通常、基板やカード上に直接「1」とシルクスクリーン印刷されています。

➡ **注意：** IDE インタフェースケーブルを接続する際は、色帯をコネクタの1番ピンから離れた位置に置かないでください。インタフェースケーブルを裏返しにすると、ドライブが動作しなかったり、コントローラやドライブ、またはその両方を損傷する恐れがあります。

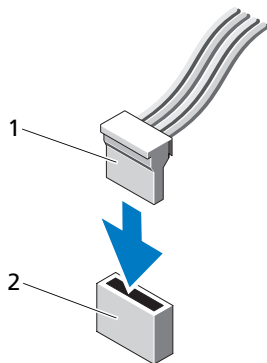
シリアルATAコネクタ



- | | |
|---|-------------|
| 1 | インタフェースケーブル |
| 2 | インタフェースコネクタ |

電源ケーブルコネクタ

電源ケーブルを使用してドライブを接続するには、電源入力コネクタをシステム基板上に配置してください。



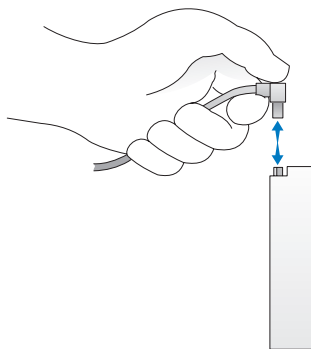
- | | |
|---|----------|
| 1 | 電源ケーブル |
| 2 | 電源入力コネクタ |

ドライブケーブルの接続と取り外しの方法

IDE ドライブデータケーブルを取り外す場合、色付きのプルタブをつかんで、コネクタが外れるまで引っ張ります。

シリアル ATA データケーブルを接続または取り外す場合、それぞれの端にある黒色のコネクタを持ち、ケーブルを外します。

IDE コネクタと同じように、シリアル ATA インタフェースは、正しく接続できるように設計されています。つまり、片方のコネクタの切り込みやピンの欠けが、もう一方のコネクタのタブや差し込み穴と一致します。



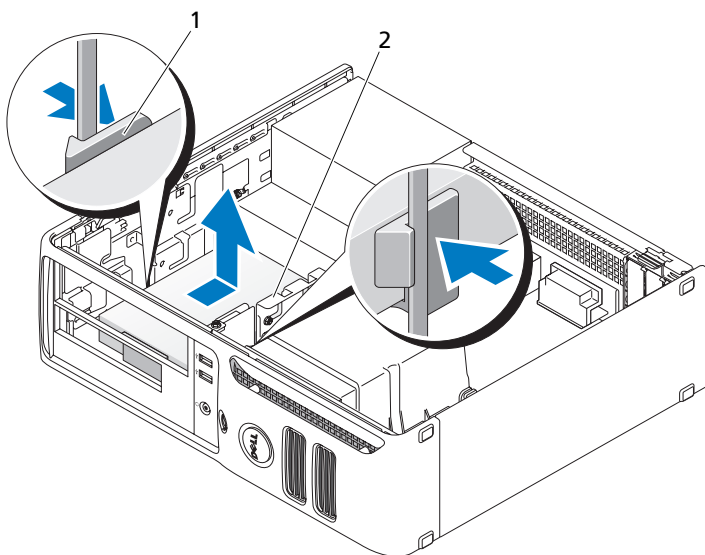
ハードドライブ

- ⚠ **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
- ⚠ **警告：** 感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- ➡ **注意：** ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。
- ➡ **注意：** 残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。

ドライブのマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータに合わせて設定されているか確認します。

ハードドライブの取り外し

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - ✍ **メモ：** 以下の手順では、DVD ドライブおよびフロッピードライブを完全に取り外す必要はないので、これらの2つのドライブを接続しているケーブルを外す必要はありません。
- 2 DVD ドライブをベイから取り外し、注意して脇に置いておきます。
- 3 フロッピードライブをベイから取り外し、注意して脇に置いておきます。
- 4 ドライブ両端の2つのプラスチックの固定クリップを押し込み、ドライブをコンピュータの背面方向にスライドさせます。
 - ➡ **注意：** ドライブをコンピュータから取り出すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。
- 5 ドライブを持ち上げてコンピュータから出し、電源ケーブルおよびハードドライブケーブルをドライブから外します。



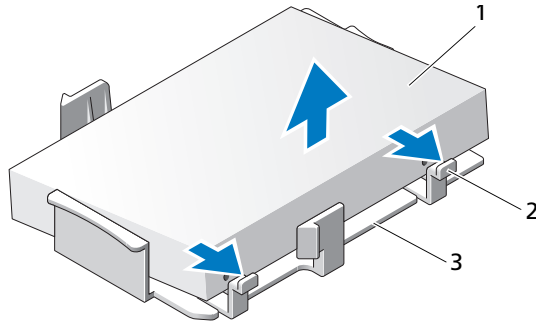
- | | |
|---|------------|
| 1 | 固定クリップ (2) |
| 2 | ハードドライブ |

ハードドライブを取り付けよう

- 1 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータに合わせて設定されているか確認します。

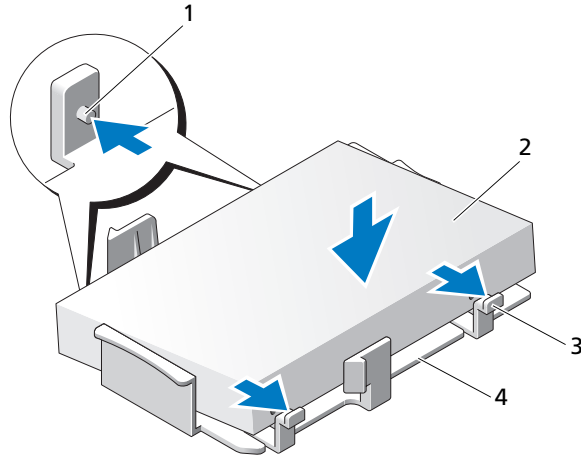
注意：ドライブへの損傷を避けるため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

- 2 交換用のハードドライブを梱包から取り出して、取り付けの準備をします。
- 3 交換用のハードドライブにプラスチック製のハードドライブブラケットがない場合は、既存のドライブからブラケットをカチッと取り外します。



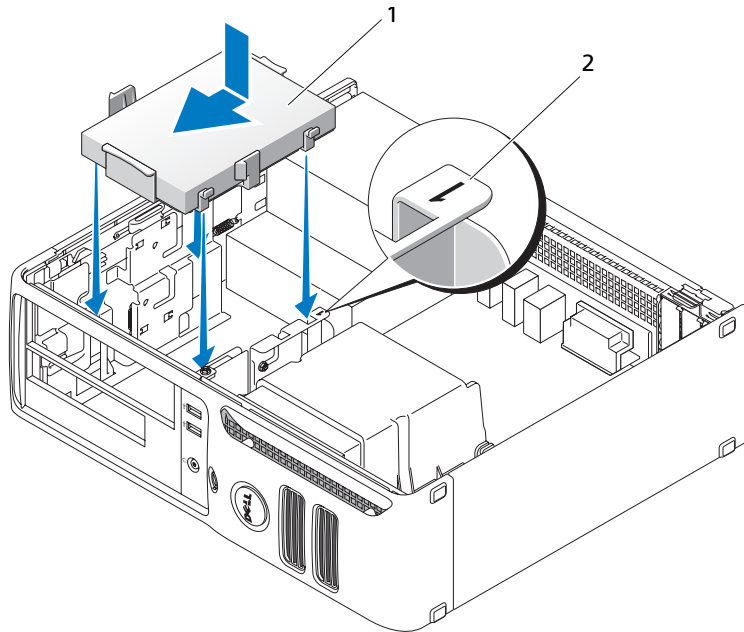
- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | ハードドライブ |
| 2 | リリースタブ (2) |
| 3 | プラスチック製のハード
ドライブブラケット |

- 4 交換用のハードドライブをブラケットに置いて、所定の位置にカチッと収まるまで押し入れます。



1	固定タブ (2)	3	リリースタブ (2)
2	ドライブ	4	プラスチック製のハード ドライブブラケット

- 5 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブに接続します。
6 ドライブの正しいスロッドの位置を確認し、カチッと所定の位置に収まるまでドライブをベイにスライドさせます。



- | | |
|---|----------|
| 1 | ハードドライブ |
| 2 | スロット検証番号 |

- 7 フロッピードライブおよび DVD ドライブを取り付けます。
- 8 すべてのコネクタが正しく接続され、固定されているか確認します。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページ を参照)。
- 10 プライマリドライブを取り付けた場合、起動可能なメディアをお使いの起動ドライブに挿入します。
- 11 コンピュータの電源を入れます。
- 12 セットアップユーティリティを起動して (93 ページ を参照)、適切な **プライマリドライブ** オプション (**0** または **2**) を更新します。
- 13 セットアップユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します。
- 14 次の手順に進む前に、ご使用のドライブにパーティションを作成し、論理フォーマットを実行します。手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。
- 15 **Dell Diagnostics (診断)** プログラムを実行して、ハードドライブをテストします (手順については、45 ページ を参照してください)。
- 16 ハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

フロッピードライブ



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



警告：感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。



メモ：フロッピードライブを追加する場合は、80 ページの「フロッピードライブを取り付けよう」を参照してください。

フロッピードライブを取り外すには

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。



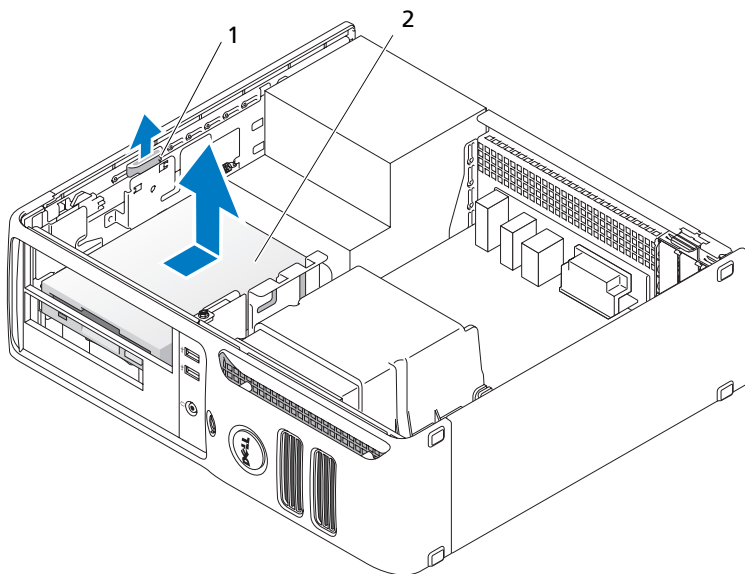
メモ：以下の手順では、DVD ドライブを完全に取り外す必要はないので、DVD ドライブを接続しているケーブルを外す必要はありません。

- 2 DVD ドライブを取り外し (84 ページの「DVD ドライブを取り外すには」を参照)、注意して脇に置いておきます。



注意：ドライブをコンピュータから取り出すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。

- 3 ドライブリリースラッチを引き上げ、フロッピードライブをコンピュータの背面方向にスライドさせます。次に、ドライブをコンピュータから持ち上げて取り外します。



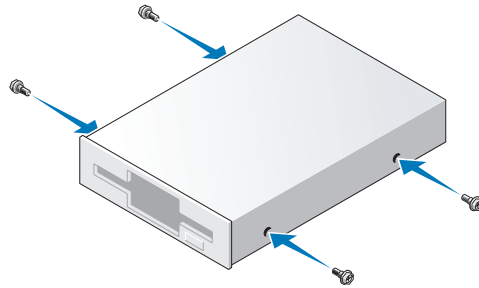
1 ドライブリリースラッチ

2 フロッピードライブ

- 4 電源ケーブルとフロッピードライブケーブルをフロッピードライブの背面から取り外します。

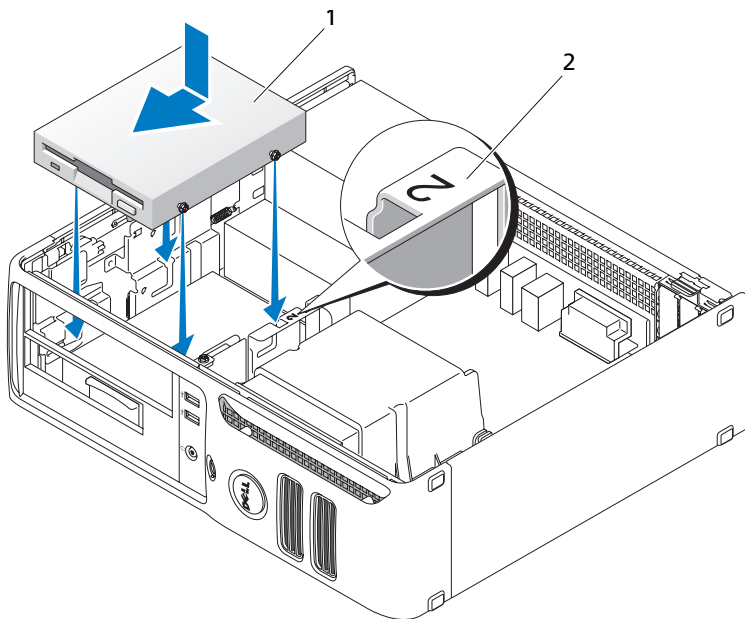
フロッピードライブを取り付けよう

- 1 新しいドライブを取り付ける場合は、次の手順を実行します。
 - a ドライブベイカバーの背面で、細めのマイナスドライバーを使って、慎重にベイカバーを外します。
 - b ドライブベイカバーから **4** 本の肩付きネジを外します。
- 2 既存のドライブを交換する場合は、以下の作業を行います。
既存のドライブから **4** 本の肩付きネジを外します。
- 3 **4** 本の肩付きネジを新しいフロッピードライブの側面に挿入して締めます。
- 4 電源ケーブルとフロッピードライブケーブルをフロッピードライブに取り付けます。



- 5 肩付きネジをネジガイドに合わせ、カチッと所定の位置に収まるまでドライブをベイにスライドさせます。

6 DVDドライブを取り付けます (83 ページ を参照)。



- | | |
|---|-----------|
| 1 | フロッピードライブ |
| 2 | スロット検証番号 |

- 7 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 8 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページ を参照)。

メディアカードリーダー

メディアカードリーダーの使い方については、19 ページの「メディアカードリーダー (オプション) の使い方」を参照してください。


メディアカードリーダーを取り外すには

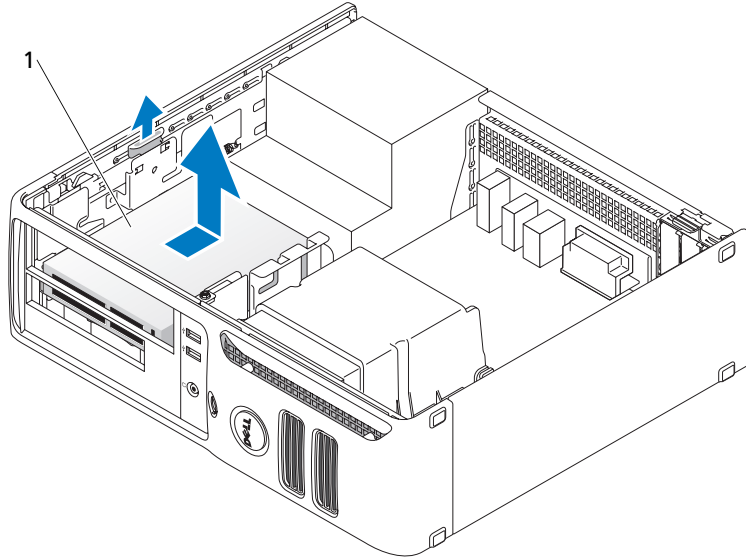
⚠ 警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』にある安全手順に従ってください。

➡ 注意： コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

✍ メモ： 以下の手順では、DVD ドライブを完全に取り外す必要はないので、DVD ドライブを接続しているケーブルを外す必要はありません。

- 2 DVD ドライブを取り外し (84 ページの「DVD ドライブを取り外すには」を参照)、注意して脇に置いておきます。
 **注意:** ドライブをコンピュータから取り出すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。
- 3 メディアカードリーダーの背面にある USB ケーブルをシステム基板の FlexBay USB コネクタから外し (62 ページ を参照)、ケーブルをエアフローカバーのクリップを通して配線します。



1 メディアカードリーダー

- 4 スライドプレートレバーを握ってコンピュータの底の方向に押し、所定の位置にレバーを保ったまま、コンピュータからドライブを引き出します。
- 5 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページを参照)。

メディアカードリーダーを取り付けよう

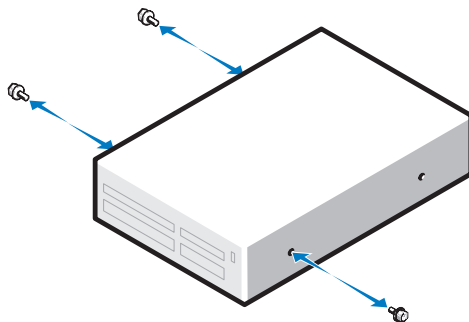


警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』にある安全手順に従ってください。



注意：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。



- 2 ドライブパネルを取り外します (71 ページ を参照)。
- 3 メディアカードリーダーとブラケットの包装を取り除きます。
- 4 3 本の肩付きネジを新しいメディアカードリーダーの側面に挿入して締めます。
- 5 カチッという音がしてドライブがしっかり固定されるまで、ドライブを所定の位置に慎重にスライドさせます (ドライブはまだ FlexBay ケーブルに接続しないでください)。
- 6 メディアカードリーダーの背面にある USB ケーブルを、システム基板上にある前面パネル USB コネクタに接続します (62 ページ を参照)。
- 7 FlexBay USB ケーブルをメディアカードリーダーの背面に接続します。
- 8 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページを参照)。

DVD ドライブ



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



警告：感電防止のため、カバーを取り外す前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

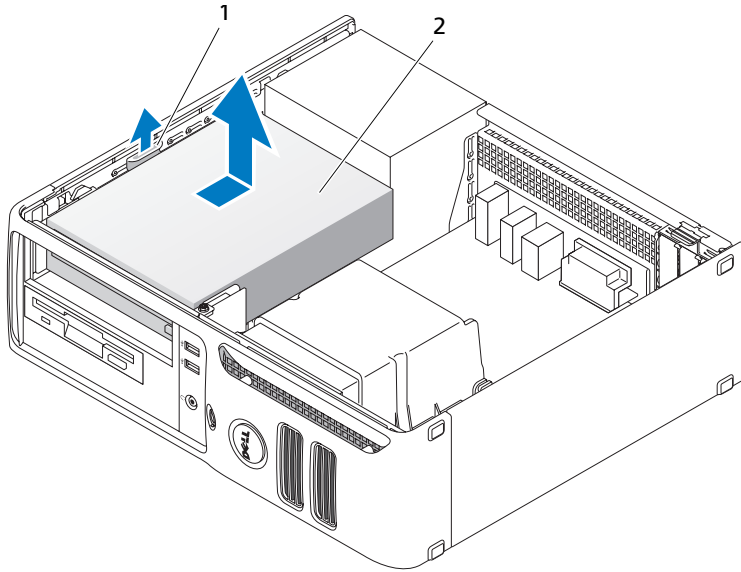
DVD ドライブを取り外すには

DVD ドライブを取り外すには

1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

注意： ドライブをコンピュータから取り出すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。

2 ドライブリリースラッチを引き上げ、ドライブをコンピュータの背面方向にスライドさせます。次に、ドライブをコンピュータから持ち上げて取り外します。



1 ドライブリリースラッチ

2 CD/DVD ドライブ

3 電源ケーブルと DVD ドライブケーブルをドライブの背面から取り外します。

DVD ドライブを取り付けよう

1 ドライブを箱から出して、取り付けの準備をします。

ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータに合わせて設定されているか確認します。IDE ドライブを取り付ける場合、ドライブを **cable select** に設定にします。

2 新しいドライブを取り付ける場合は、次の手順を実行します。

a ドライブベイカバーの上部にある 2 つの留め金を押し、ベイカバーをコンピュータの前面方向に動かします。

b ドライブベイカバーから 3 本の肩付きネジを外します。

- 3 既存のドライブを交換する場合は、以下の作業を行います。
 - a ドライブベイカバーの上部にある 2 つの留め金を押し、ベイカバーをコンピュータの前面方向に動かします。
 - b 既存のドライブから 3 本の肩付きネジを外します。
 - c 3 本の肩付きネジを新しいフロッピードライブの側面に挿入して締めます。
- 4 電源ケーブルと DVD ドライブケーブルをドライブに接続します。
- 5 肩付きネジをネジガイドに合わせ、カチッと所定の位置に収まるまでドライブをベイにスライドさせます。
- 6 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 7 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページの「コンピュータカバーを取り付けるには」を参照)。

バッテリー

バッテリーを交換するには



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を除去することができます。


コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時間の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年間です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報をリセットしなければならないような場合は、バッテリーを交換します。

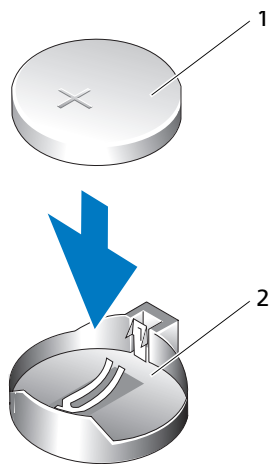


警告：新しいバッテリーを取り付ける場合、正しく取り付けてください。破裂する場合があります。交換するバッテリーは、デルが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 セットアップユーティリティ (92 ページを参照) のすべての画面を記録しておくこと、手順 8 で正しい設定に復元することができます。
- 2 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 3 バッテリーソケットを確認します (62 ページを参照)。
- 
注意：道具 (先端の鋭くないもの) を使用して、バッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを外してください。それを怠ると、バッテリーソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与える恐れがあります。
- 4 プラスチック製のドライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具、または指を使ってバッテリーをバッテリーソケットから取り外します。


- 5 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の場所にカチッとはめ込みます。



- | | |
|---|-----------|
| 1 | バッテリー |
| 2 | バッテリーソケット |

- 6 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページ を参照)。
- ➡ **メモ:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 セットアップユーティリティを起動して (92 ページを参照)、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 9 古いバッテリーは適切に廃棄します。バッテリーの廃棄については、『製品情報ガイド』を参照してください。


コンピュータカバーを取り付けるには

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 すべてのケーブルがしっかり接続され、ケーブルが邪魔にならない場所に束ねられているか確認します。


電源ケーブルがドライブの下に挟まらないように、電源ケーブルを慎重に手前に引きます。

- 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーを取り付けるには、次の手順を実行します。
 - a カバーの下側を、コンピュータの底面の縁に沿ってあるヒンジタブに合わせます。
 - b ヒンジタブをてこのように使い、カバーを下方向に動かして閉じます。
 - c カバーをリリースラッチ上で後方に引いて所定の位置にはめ込み、カバーが正しい位置に収まったらラッチを解放します。
 - d コンピュータを動かす前に、カバーが正しくはまっていることを確認します。

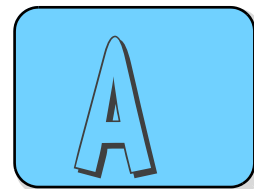
 **メモ：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

- 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

- 5 コンピュータを垂直に立てる前に、カバーが正しくはまっていることを確認します。

 **メモ：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

- 6 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。



付録

仕様

プロセッサ

プロセッサの種類	Intel® Pentium® または Celeron® プロセッサ
L1 (レベル 1) キャッシュ	32 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	(お使いのコンピュータの構成に基づいて) 256 K、1 MB、または 2 MB パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエイティブ、ライトバック SRAM

メモリ

タイプ	400 および 533 MHz DDR2 バッファなし SDRAM
メモリのコネクタ	2 つ
メモリ容量	256 MB、512 MB、または 1 GB 非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB
BIOS アドレス	F0000h

コンピュータ情報

チップセット	Intel 915GV
DMA チャンネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ (NVRAM)	4 Mb
NIC	10/100 通信が可能なオンボードネットワークインタフェース
システムクロック	800 MHz データ転送速度

ビデオ

タイプ	内蔵
-----	----

オーディオ

タイプ	HDA 2
-----	-------

拡張バス

バスのタイプ	PCI 2.3 PCI Express x1
バス速度	PCI: 33 MHz PCI Express: 500 MB/s 双方向速度

PCI

コネクタ	2 つ
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット

PCI Express

コネクタ	x1、1 つ
コネクタサイズ	36 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	1 PCI Express レーン

ドライブ

外部アクセス用：

3.5 インチドライブベイ (FlexBay) 1 つ
5.25 インチドライブベイ 1 つ

利用可能なデバイス シリアル ATA ドライブ (1)、フロッピードライブ、USB メモリデバイス、DVD±RW ドライブ、およびメディアリーダー

内部アクセス可能 シングル 1 インチ幅ハードドライブ用ベイ 1 つ

コネクタ

外付けコネクタ：

ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ
USB	USB 2.0 準拠コネクタ (前面パネルに 2 つと背面パネルに 4 つ)
オーディオ	ライン入力、ライン出力、マイク用のコネクタが 3 つ、およびヘッドフォン用の前面パネルコネクタが 1 つ

コネクタ

システム基板コネクタ：

プライマリ IDE ドライブ	PCI ローカルバスに 40 ピンコネクタ
シリアル ATA	7 ピンコネクタ 1 つ
FlexBay ドライブ	オプションのフロッピードライブまたはオプションのメディアカードリーダー (3.5 インチベイデバイス) 用 USB 10 ピンヘッダー
ファン	5 ピンコネクタ 1 つ
PCI 2.3	120 ピンコネクタ × 2
PCI Express x1	36 ピンコネクタ

コントロールおよびライト

電源ボタン	押しボタン
電源ライト	緑色のライト — スリープ状態のとき緑色に点滅、電源がオンのとき緑色に点灯 黄色のライト — 黄色の点滅はコンピュータ内部の電源ユニットに問題があることを示します。システムが起動できず、黄色のライトが点灯したままの場合は、システム基板に問題があることを示します (36 ページの「電源の問題」を参照)。
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	緑色のライト — 10 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 橙色のライト — 100 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 オフ (消灯) — コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。
動作ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	黄色の点滅ライト
診断ライト	前面パネルにある 4 つのライト (42 ページの「診断ライト」を参照)
スタンバイ電源ライト	システム基板の AUX_PWR

電源

DC 電源装置：

ワット数	220 W
熱消費	434.6 BTU/ 時間

電源

電圧（重要な電圧設定情報については、『製品情報ガイド』の安全に関する指示を参照してください。） **100 ~ 240 V**

バックアップバッテリー **3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー**

寸法

縦幅 **36.1 cm**

横幅 **11.4 cm**

長さ **39.9 cm**

重量 **9.07 kg**

環境

温度：

動作時 **10 ~ 35 °C**

保管時 **-40 ~ 65 °C**

相対湿度：

動作時 **20 ~ 80 %**（結露しないこと）

保管時 **5 ~ 95 %**（結露しないこと）

最大耐久震度：

動作時 **0.25 G**（3 ~ 200 Hz、0.5 オクターブ / 分）

保管時 **0.5 G**（3 ~ 200 Hz、1 オクターブ / 分）

最大耐久衝撃：

動作時 **50.8 cm/ 秒**の速度変化でボトムハーフサインパルス

保管時 **508 cm/ 秒**の速度変化で **27 G** フェアードスクエアウェーブ

高度：

動作時 **-15.2 ~ 3,048 m**

保管時 **-15.2 ~ 10668 m**

セットアップユーティリティ

概要

セットアップユーティリティは以下の場合に使用します。

- ハードウェアを追加、変更、取り外した後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けられたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティ画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。



注意： コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティを起動するには

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青色の **DELL™** のロゴが表示されたら、**F2** を押すよう促すプロンプトが表示されるのを注意して待ってください。
- 3 **F2** プロンプトが表示されたら、すぐに **<F2>** を押します。



メモ： **F2** プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトは短時間しか表示されない場合があるので、プロンプトの表示に注意して **<F2>** を押す必要があります。プロンプトが表示される前に **<F2>** を押しても、キーは機能しません。

- 4 ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、**Microsoft® Windows®** デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（54 ページを参照）もう一度やりなおします。

セットアップ画面

セットアップユーティリティ画面は、お使いのコンピュータの現在のまたは変更可能な設定情報を表示します。画面上の情報は、オプションリスト、アクティブオプションフィールド、キーファンクションの 3 つの領域に分かれます。

<p>Options List — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、取り付けられたハードウェア、省電力機能、およびセキュリティ機能を含む、コンピュータの構成を定義するオプションを表示する、スクロール可能なリストです。</p>	<p>Option Field — このフィールドには、各オプションについての情報が表示されます。このフィールドで、現在の設定を表示させたり設定を変更することができます。左右矢印キーを使って、オプションをハイライト表示します。<Enter> を押して、選択を有効にします。</p>
<p>上下矢印キーを使用して、リストを上下にスクロールします。オプションがハイライト表示されている際、Option Field はそのオプションの詳細とオプションの現在の設定および利用可能な設定を表示します。<Enter> または左右の矢印キーを押すと、主要トピック表示（折りたたみ）と副トピック表示（展開）を切り替えることができます。</p>	<p>Key Functions — このフィールドは、Option Field の下に表示され、アクティブなセットアップユーティリティフィールドのキーおよびそれらのファンクションのリストが表示されます。</p>

セットアップオプション



メモ：お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスに応じて、この項に一覧表示された項目とは異なる場合があります。

System

System Info

コンピュータ名、BIOS バージョン番号および日付、システムタグやその他のシステム固有情報などシステム情報のリストを示します。

CPU Info

コンピュータのプロセッサがハイパースレディングに対応しているか識別し、プロセッサバススピード、プロセッサ ID、クロックスピード、および L2 キャッシュのリストを表示します。

Memory Info

取り付けられているメモリの量、メモリ速度、チャンネルモード（デュアル / シングル）、取り付けられているメモリのタイプを示します。

Date/Time

現在の日付および時刻設定を表示します。

Boot Sequence

コンピュータはこのリストで指定したデバイスの順番で起動を試みます。



メモ：起動デバイスを挿入して、コンピュータを再起動した場合、このオプションはセットアップユーティリティのメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、**USB** デバイスを選んで移動し、一覧の最初のデバイスにします。

Drives

Diskette Drive

システム基板の FLOPPY コネクタに接続されているフロッピードライブを識別し、**Off**、**USB**、**Internal**、または **Read Only** と定義します。

Drives 0 through 1

システム基板の SATA コネクタに接続されているドライブを識別し、ハードドライブの容量を表示します。

Onboard Devices

Integrated NIC Controller

NIC は **On** (デフォルト)、**Off**、**On w/ PXE** に設定できます。**On w/ PXE 設定がアクティブ** (次回からの起動プロセスにのみ使用可能) な場合は、<Ctrl><Alt> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバーから起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できないと、コンピュータは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。

Integrated Audio Controller

オンボードオーディオコントローラを有効または無効にします。

USB Controller

On (デフォルト) に設定すると、USB デバイスが検出され、オペレーティングシステムでサポートされます。

USB for FlexBay

FlexBay 用の内蔵 USB を有効および無効にします。

Off = FlexBay 用の内蔵 USB が無効になります。

On = FlexBay 用の内蔵 USB が有効になります。

工場出荷時のデフォルトは **On** です。



メモ：この USB オプションは、FlexBay デバイスが取り付けられている場合のみ表示されます。

Video

Primary Video

この設定は、コンピュータにビデオコントローラが 2 つある場合、どちらをプライマリにするかを指定します。

Video Memory Size

1 MB と 8 MB の選択可能なオプションを提供して、オンボードビデオコントローラに予約されたシステムメモリの割り当てを設定します。


Performance


HyperThreading

お使いのコンピュータのプロセッサがハイパースレッディングに対応している場合、このオプションが **Options List** に表示されます。

Hard Drive Acoustics

- **Bypass (デフォルト)** — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。
- **Quiet** — ハードドライブは最も静かな設定で動作します。
- **Suggested** — ハードドライブは、ハードドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。
- **Performance** — ハードドライブは最大速度で動作します。

 **メモ**：Performance モードに切り替えると、ドライブヘッドの動きが速くなり、ハードドライブの騒音が大きくなります。ただし、一部のドライブでは、データ転送速度に増加が見られない場合もあります。

 **メモ**：アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。

Security

このセクションは、使用可能なシステムセキュリティオプションを表示します。

Admin Password

System Password オプションでシステムへのアクセスを制限すると同様に、このオプションは、コンピュータのセットアップユーティリティへのアクセスを制限します。

System Password

システムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、新しいシステムパスワードを設定したり確認することができます。

Password Status

このオプションは、セットアップパスワードを使ってシステムパスワードフィールドをロックします。フィールドがロックされている場合、コンピュータ起動時に <Ctrl><Enter> を押してパスワードセキュリティを無効にすることができなくなります。

Power Management

AC Recovery

コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを決定します。

Auto Power On

コンピュータが自動的にオンになるように設定します。選べるのは、**every day** または各 **Monday through Friday** です。

デフォルト設定は、**Off** です。

この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。

Auto Power Time

コンピュータを自動的にオンにする時間を設定します。

時間は標準 12 時間フォーマット (時間:分) で表示されます。左右矢印キーを押して、数値を増減するか、日付と時間のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時間を変更します。

この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。

Low Power Mode

Low Power Mode が選択されている場合、リモートウェイクアップイベントは、**Hibernate** または **Off** から起動しません。

Suspend Mode

このオプションは、低電力モードで実行するサスペンド状態である **S1**、およびほとんどのコンポーネントの電源は削減または切られるが、システムメモリはアクティブになるスタンバイ状態である **S3** です。

Maintenance

CMOS Defaults

この設定は、コンピュータのデフォルト設定を復元します。

Event Log	システムイベントログを表示します。
POST Behavior	
Fastboot	On (デフォルト) に設定されている場合、お使いのコンピュータは起動時に、特定の設定とテストを省略するのでより早く起動します。
Numlock Key	このオプションは、キーボード上の右端列のキーに関連しています。 On (デフォルト) に設定されている場合、各キー上部に表示されている数値および数学機能がアクティブになります。 Off に設定されている場合、各キー下部にラベルが付けられているカーソルコントロール機能がアクティブになります。
POST Hotkeys	このオプションでは、コンピュータ起動時に画面に表示されるファンクションキーを指定できます。
Keyboard Errors	このオプションは、コンピュータ起動時のキーボードエラーレポートを無効または有効にします。

起動順序

この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。

オプション設定

- **Diskette Drive** — コンピュータはフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはフロッピードライブがコンピュータに取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。ドライブに CD がない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device** — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の左上角に F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB フラッシュオプションを起動メニューに追加します。



メモ：USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。お使いのデバイスが起動可能を確認するには、デバイスのマニュアルを参照してください。

一回のみの起動順序の変更

この機能を使用すると、たとえば、フロッピードライブ、メモリキー、または CD-RW ドライブなどの USB デバイスからお使いのコンピュータを再起動できます。



メモ：USB フロッピードライブから起動する場合、セットアップユーティリティで **ディスクドライブ** を OFF にする必要があります (92 ページを参照)。

- 1 USB デバイスから起動する場合、USB デバイスを USB コネクタに接続してください (90 ページを参照)。
- 2 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。

- 3 画面の左上角に **F2 = Setup**, **F12 = Boot Menu** と表示されたら、**<F12>** を押します。
ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、**Microsoft Windows** のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして (54 ページを参照) もう一度やりなおしてみます。


使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した、**Boot Device Menu** が表示されます。各デバイスには、横に番号があります。

- 4 メニューの一番下で、一回のみの起動に使用するデバイスの数を入力します。
たとえば、**USB** メモリキーから起動する場合、**USB Flash Device** をハイライト表示して、**<Enter>** を押します。



メモ : **USB** デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。お使いのデバイスが起動可能か確認するには、デバイスのマニュアルを参照してください。

次回からの起動順序の変更

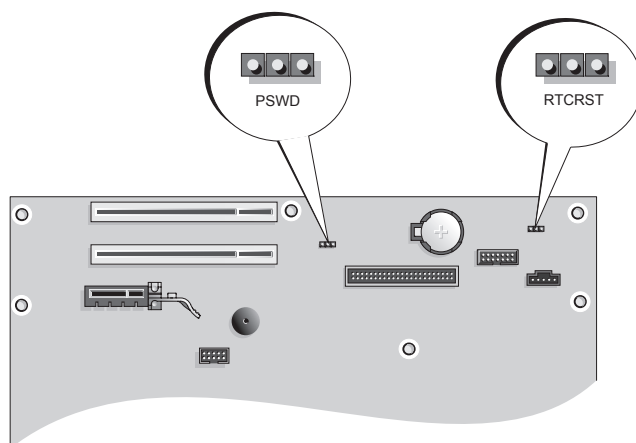
- 1 セットアップユーティリティを起動します (93 ページを参照)。
- 2 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、**<Enter>** を押してメニューにアクセスします。
 **メモ** : 後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を書きとめます。
- 3 デバイスのリスト内を移動するには、上下矢印キーを押します。
- 4 スペースバーを押して、デバイスを有効または無効にします (有効になっているデバイスにはチェックマークが付いています)。
- 5 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、プラス (+) またはマイナス (-) を押します。









忘れたパスワードと CMOS 設定をクリアするには

⚠ 警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

ジャンパの位置





ジャンパ	設定	Description
PSWD  1 2 3		パスワード機能が有効になっています (デフォルト)。
		パスワード機能が無効になります。
RTCST  3 2 1		リアルタイムクロックはリセットされていません。
		リアルタイムクロックはリセットされています (一時的にジャンパありの状態)。
	ジャンパあり	 ジャンパなし

パスワード設定のクリア

- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 システム基板 (99 ページを参照) の 3 ピンパスワードジャンパ (PSWD) の位置を確認し、2 番ピンおよび 3 番ピンジャンパプラグを取り付けて、パスワードを消去します。
 **メモ:** お使いのコンピュータは出荷時に、1 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパプラグが取り付けられています。
- 3 コンピュータカバーを閉じます (87 ページを参照)。
- 4 コンピュータとモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 5 コンピュータに Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします (54 ページを参照)。
- 6 モニターの電源を切って、コンセントから外します。
- 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- 8 コンピュータカバーを開きます (59 ページを参照)。
- 9 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパ (PAWD) の位置を確認し (62 ページを参照)、1 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパプラグを被せて、パスワード機能を再び有効にします。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページを参照)。
 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。


CMOS 設定をリセットするには

-  **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
- 1 53 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - 2 現在の CMOS 設定をリセットします。
 - a システム基盤の 3 ピン CMOS ジャンパ (RTCST) を確認します (99 ページを参照)。
 - b ジャンパプラグを 2 番ピンおよび 3 番ピンから取り外します。
 - c ジャンパプラグを 1 番ピンおよび 2 番ピンに取り付け、約 5 秒待ちます。
 - d ジャンパプラグを 2 番ピンおよび 3 番ピンに取り付けます。
 - 3 コンピュータカバーを取り付けます (87 ページを参照)。
 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
 - 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

コンピュータをクリーニングするには

-  **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびモニター

-  **警告:** コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- 掃除機のブラシを使って、コンピュータのスロット部分や穴の開いている部分、およびキーとキーボードの間などのゴミを注意深く取り除きます。

➡ 注意：洗剤またはアルコール液でモニター画面を拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する恐れがあります。

- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの帯電防止コーティング用に適した溶液を使ってください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を **3 対 1** で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔な布を使って拭きます。
この溶液に布を浸さないでください。また、コンピュータやキーボードの内部に溶液が入らないようにしてください。

マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

- 1 マウスの底部にある固定リングを左に回し外します。ボールを取り出します。
- 2 清潔な、糸くずの出ない布でボールを拭き取ります。
- 3 ボールが入っているケージ内のほこりや糸くずを注意深く吹き飛ばします。
- 4 ボールが入っているケージのローラーが汚れている場合は、消毒用アルコール（イソプロピルアルコール）を軽く浸した綿棒を使ってローラーの汚れを拭き取ります。
- 5 ローラーが溝からずれてしまった場合、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 6 ボールと固定リングをマウスに取り付けて、固定リングを右に回して元の位置にはめ込みます。

フロッピードライブ

➡ 注意：綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットでフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用時にドライブヘッドに付いた汚れを落とすように前処理されたフロッピーディスクが入っています。

CD と DVD

➡ 注意：DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。
➡ 注意：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。
- 2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。
頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹼の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com (テクニカルサポート)
- premier.dell.co.jp/premier/ (教育機関、行政機関、医療機関、および中企業 / 大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート)



メモ：一部の国では、別に表示されている電話番号で **Dell XPS** ノートブックコンピュータ専用のテクニカルサポートをご利用いただけます。**XPS** ノートブックコンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているテクニカルサポートの番号でデルに電話をかけると、担当者に転送されます。

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国 (市) 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E- メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本 (川崎)	ウェブサイト： support.jp.dell.com	
国際電話アクセス コード： 001	テクニカルサポート (Dimension および Inspiron)	フリーダイヤル：0120-198-226
国番号： 81	日本国外のテクニカルサポート (Dimension および Inspiron)	81-44-520-1435
市外局番： 44	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 (従業員数 400 人未 満)	044-556-1465
	法人営業本部 (従業員数 400 人以上)	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上)	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current (交流) — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

APR — advanced port replicator — ノートブックコンピュータでモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスを利用しやすくするドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — 管理コンソールにハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

B

BIOS — basic input/output system (基本入出力システム) — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェースの役割をするプログラム (またはユーティリティ) です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セッティングユーティリティとも呼ばれています。

BLUETOOTH™ — 短距離 (9 メートル) 内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

BPS — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する単位です。

BTU — British thermal unit (英国熱量単位) — 発熱量の単位です。

C

C — セルシウス (摂氏) — 温度の単位で、水の氷点を 0°、沸点を 100° としています。

CD — compact disc — 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます (再書き込み)。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書） — お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数字のコードです。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM） — メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM） — データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DIN コネクタ — 丸い 6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャンネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線） — アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジーです。

DVD — digital versatile disc — 通常は、映画を録画するために使われるディスクです。CD の場合は片面のみを使用しますが、DVD は両面を使用します。DVD ドライブはほとんどの CD を読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するときに使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジーは DVD-RW テクノロジーとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface — コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。DVI アダプタはコンピュータの内蔵グラフィックスを介して動作します。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正） — メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害） — 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

ENERGY STAR® — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD（静電気放出） — electrostatic discharge（静電気放出） — 静電気の急速な放出のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

F

FAHRENHEIT（華氏） — 温度の単位で、水の氷点を 32°、沸点を 212° としています。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会） — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — プロセッサと RAM 間のデータ経路および物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol (ファイル転送プロトコル) — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1,024 MB (1,073,741,824 バイト) です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は、10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ (kHz)、メガヘルツ (MHz)、ギガヘルツ (GHz)、またはテラヘルツ (THz) 単位で計測される場合もあります。

I

IC — Industry Canada — 米国の FCC と同様、電子装置からの放射を規制するカナダの規制団体です。

IC — integrated circuit (集積回路) — コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

I/O — input/output (入出力) — コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス (シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど) に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際標準を作成する組織です。

IRQ — interrupt request (割り込み要求) — デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできませんが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider (インターネットサービスプロバイダ) — インターネットへの接続、Eメールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料 (月払い) で提供します。

K

Kb — キロビット — (Kb) 1,024 ビットに相当するデータの単位です。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — (kHz) 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network (ローカルエリアネットワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN (ワイドエリアネットワーク) を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode (発光ダイオード) — コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続の指定です。

M

MB — メガビット — (Mb) 1,024 KB に相当するメモリチップの容量の単位です。

MBps — メガビット / 秒 — (Mbps) 1,000,000 ビット / 秒。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。または 1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュータの電源が切れたり、外部電源が停止したりした場合にデータを保存するメモリの種類です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIN — personal identification number (個人識別番号) — コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output — データバスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test (電源投入時の自己テスト) — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory (ランダムアクセスメモリ) — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

README ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference (無線電波障害) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込んだりできないデータやプログラムを保存するメモリです。**RAM** と異なり、**ROM** はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで **ROM** に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCST — real-time clock reset — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ) — プロセッサの最適クロック速度と同期された **DRAM** の一種です。

SHUTDOWN — ウィンドウやプログラムを閉じ、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。**SVGA** の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスを **Windows** のプログラムで使用できるようにするインタフェースです。

U

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源装置) — 電氣的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。**UPS** を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、**UPS** システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の **UPS** システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus — **USB** 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス (**DSL** およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。**USB** デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワークや他の一部のコンピュータネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

Whr — ワット時 — おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 Whr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

ZIP ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出し、隔離して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インター

ネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスペレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスペレスサービスコードをお伝えください。エクスペレスサービスコードが利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、モニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合いです。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み不可に設定 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上（コンピュータによって異なる場合もあります）のコネクタです。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けられた時に PC カードスロットからカードの端がはみ出しています。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動可能ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動可能 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または Resource CD が起動 CD です。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックモード — x 水平ピクセル数 \times y 垂直ピクセル数 \times z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows コーティリティです。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの support.jp.dell.com にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

システムトレイ — 通知領域を参照してください。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブに素早くアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、およびハードディスク上にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft コーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして、電力を節約する省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定したりするのに使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

テキストエディター — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクのストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用してコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス — ディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどコンピュータに内蔵または外付けされたハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるように設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — APR を参照してください。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスを、オペレーティングシステムが制御できるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板上にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、**NIC**（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ヘルプファイル — 製品の説明や各種手順を記したファイルです。ヘルプファイルの中には、**Microsoft Word**の『ヘルプ』のように特定のプログラムに適用されるものがあります。他に、単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、**.hlp**または**.chm**です。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1バイトは8ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、**MHz**で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブ上のデータファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータがACアダプタおよびコンセントに接続されていないときに、コンピュータを動作させるために使われる内蔵の電源です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/Oポートは、パラレルプリンタをコンピュータに接続する場合などに使用されます。**LPT**ポートとも呼ばれます。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供するビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（**Windows**オペレーティングシステムなど）は、**x**水平ピクセル数 × **y**垂直ピクセル数 × **z**色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、**x**列 × **y**行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（**800 × 600**など）は、上下左右に並びピクセルの数で表します。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能。**BIOS**、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備する工程のことです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整理したりグループ化したりするスペースを表す用語です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムは、オペレーティングシステムの実行を必要とします。

プロセッサ — プログラム命令を解析して実行するコンピュータチップ。プロセッサは、**CPU**（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ま

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かし、画面上のカーソルやポインタを移動します。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、**RAM**、**ROM**、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと **RAM** メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に **RAM** に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる工程です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるように なります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、**PC** カード、内蔵モデムの **3** 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や **E-**メールの交換に使用されます。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または **Dell TravelLite™** モジュール などのようなデバイスをサポートするベイです。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用 に設定できます。

- フロッピーディスク、**CD**、または **DVD** を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は、**Hz** で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（または 垂直周波数）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

索引

B

BIOS, 92

C

CD, 17

再生, 15

CD および DVD の再生, 15

CD のコピー

一般的な情報, 17

手順, 17

便利なヒント, 19

CD/DVD ドライブ

動作ライト, 56

取り外し, 84

取り出しボタン, 56

問題, 28

CD-RW ドライブ

問題, 28

CMOS 設定

クリア, 99

リセット, 100

D

Dell

サポートサイト, 8

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 45

DVD, 17

再生, 15

DVD ドライブ

問題, 28

DVD のコピー

一般的な情報, 17

手順, 17

便利なヒント, 19

E

E-メール

問題, 29

F

Flex Bay ドライブ

メディアカードリーダー, 56

M

Microsoft Windows

ラベル, 8

P

PCI カード

取り付け, 68

取り外し, 71

R

ResourceCD

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 45

S

SATA。 シリアル ATA を参照

U

USB

コネクタ, 56, 58

デバイスに起動, 98

V

VGA

コネクタ, 58

W

Windows XP

再インストール, 48

システムの復元, 48

スキャナー, 38

デバイスドライバのロール

バック, 47

ネットワークセットアップ

ウィザード, 21

ハードウェアに関する

トラブル

シューティング, 48

ハイパースレッディング, 24

ファイルと設定の転送

ウィザード, 24

プログラム互換性

ウィザード, 33

ヘルプとサポートセンター, 9

あ

新しいコンピュータへの情報の

転送, 24

安全にお使いいただくために, 7

い

インターネット
接続, オプション, 13
接続, セットアップ, 13
接続, 説明, 13
問題, 29

う

ウィザード
ネットワークセットアップ
ウィザード, 21
ファイルと設定の転送
ウィザード, 24
プログラム互換性
ウィザード, 33

え

エラーメッセージ
トラブルシュート, 30
診断ライト, 42
エンドユーザーライセンス
同意書, 7

お

オーディオコネクタ, 58
オーディオ。サウンドを参照
オペレーティングシステム
Windows XP の
再インストール, 48

か

カード
PCI, 67
PCI Express, 67
PCI Express スロット, 58
PCI スロット, 58

PCI の取り付け, 68
PCI の取り外し, 71
サポートされている
タイプ, 67
スロット, 58, 67

カバー
取り付け, 87
取り外し, 59

き

キーボード
問題, 31
起動
USB デバイス, 98
起動順序
オプション設定, 97
説明, 97
変更, 98
休止状態モード, 22-23

こ

コネクタ, 56
USB, 56, 58
VGA, 58
オーディオ, 58
サラウンド, 58
電源, 58
ネットワークアダプタ, 58
ビデオ, 58
ヘッドフォン, 56
マイク, 58
ライン出力, 58
ライン入力, 58
中央 /LFE, 58

コンピュータ
応答しない, 32
クラッシュ, 32-33
内部コンポーネント, 60
内部図, 60
以前の状態に復元, 48

さ

サービスタグ, 8, 56
再インストール
Windows XP, 48
サウンド
ボリューム, 38
問題, 38
作業姿勢に関する情報, 7
サポート
デルへのお問い合わせ, 102
サポートウェブサイト, 8

し

システムの復元, 48
システム基盤, 62
仕様
オーディオ, 89
拡張バス, 90
コネクタ, 90
コントロールおよび
ライト, 91
コンピュータ情報, 89
寸法, 92
電源, 91
ドライブ, 90
ビデオ, 89
プロセッサ, 89
メモリ, 89
環境, 92
技術, 89

シリアル ATA, 75

診断
Dell, 45
ライト, 56
診断ライト, 42

す

- スキャナー
問題, 37
- スタンバイモード, 22
- スピーカー
ボリューム, 38
問題, 38

せ

- 製品情報ガイド, 7
- 設定
セットアップユーティリティ
, 92
- セットアップユーティリティ
オプション, 94
説明, 92
画面, 93
起動, 93

そ

- ソフトウェア
ハイパースレッディング, 24
問題, 32-33

つ

- 通気孔, 56
前面パネル, 56

て

- ディスクのチェック, 28
- デル
お問い合わせ, 102
- デルプレミアサポート
ウェブサイト, 7

電源

- オプション, 22
- オプション、設定, 23
- オプション、休止状態, 23
- オプション、詳細設定, 23
- コネクタ, 58
- スタンバイモード, 22
- ボタン, 56
- 休止状態モード, 22-23
問題, 36
- 電源オプションの
プロパティ, 22

- 電源ライト
状態, 36

電力

- 管理, 21
節約, 21

と

- ドライバ
識別, 46
説明, 46
- ドライブ, 72
CD/DVD の取り外し, 84
serial ATA, 75
ハードドライブ, 75
フロッピーの取り外し, 79
問題, 27
- ドライブパネル, 56
- トラブルシューティング
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 45
以前の状態に復元, 48
診断ライト, 42
ハードウェアに関するトラブル
シューティング, 48
- ヒント, 27
ヘルプとサポートセンター, 9

に

- 認可機関の情報, 7

ね

- ネットワーク
コネクタ, 58
セットアップ, 20
ネットワークセットアップ
ウィザード, 21
問題, 35
- ネットワークセットアップ
ウィザード, 21

は

- ハードウェア
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 45
- ハードウェアに関する
トラブル
シューティング, 48
- ハードドライブ
動作ライト, 56
問題, 28
- ハイパースレッディング, 24
- パスワード
クリア, 99
ジャンパ, 99
- バッテリー
交換, 85
問題, 27
- ひ
ビデオ
コネクタ, 58

ふ

- ファイルと設定の転送
ウィザード, 24
- 部品の取り付け
コンピュータの
電源を切る, 54
作業を開始する前に, 53
奨励するツール, 54
- プリンタ
USB, 12
ケーブル, 12
プリンタの接続
セットアップ, 12
問題, 36
- プログラム互換性
ウィザード, 33
- フロッピードライブ
取り外し, 79

へ

- ヘッドフォン, 56
- ヘルプとサポートセンター, 9
- ヘルプファイル
Windows ヘルプとサポート
センター, 9

ほ

- ボリューム
調整, 38

ま

- マイク
コネクタ, 58
- マウス
問題, 34

マザーボード。システム基盤を
参照

- マニュアル
安全性, 7
エンドユーザーライセンス
同意書, 7
オンライン, 8
作業姿勢, 7
規制, 7
製品情報ガイド, 7

め

- メッセージ
エラー, 30
- メディアカードリーダー
取り付け, 81, 83
取り外し, 81
使い方, 19
問題, 31
- メモリ
DDR2 の概要, 63
サポートされている
タイプ, 63
装着ガイドライン, 63
取り付け, 64
取り外し, 66
問題, 34

も

- モデム
問題, 29
- モニター
何も表示されない, 39
見づらい, 40
- 問題
CD ドライブ, 28
CD-RW ドライブ, 28
Dell Diagnostics (診断) プロ
グラム, 45
DVD ドライブ, 28

E-メール, 29

- 以前の状態に復元, 48
- インターネット, 29
- エラーメッセージ, 30
- キーボード, 31
- コンピュータが応答しない, 32
- コンピュータクラッシュ, 32
- コンピュータのクラッシュ
, 33
- サウンドおよびスピーカー
, 38
- スキャナー, 37
- ソフトウェア, 32-33
- 電源, 36
- 電源ライトの状態, 36
- ドライブ, 27
- トラブルシューティングのヒン
ト, 27
- ネットワーク, 35
- ハードドライブ, 28
- バッテリー, 27
- プリンタ, 36
- ブルースクリーン, 33
- プログラムが応答しない, 32
- プログラムと Windows の互換
性, 33
- プログラムのクラッシュ, 32
- ボリューム調整, 38
- マウス, 34
- メディアカードリーダー, 31
- メモリ, 34
- モデム, 29
- モニターが見づらい, 40
- モニターに何も表示されない
, 39
- 以前の状態に復元, 48
- 一般, 32
- 画面が見づらい, 40
- 画面に何も表示されない, 39
- 診断ライト, 42

ら

ライト

コンピュータの前面, 42

診断, 42, 56

ハードドライブ動作, 56

ラベル

Microsoft Windows, 8

サービスタグ, 8, 56

り

リリースラッチ

カバー, 56

